

令和4年12月7日

## 学生による授業アンケート報告書【授業担当教員コメント編】について

高等教育推進機構長 山口 淳二

北海道大学では、平成6年より全学教育科目の授業アンケートを実施するとともに、その結果を授業担当教員にフィードバックすることによって、授業改善に取り組んできました。しかしながら、アンケート結果に対して、個々の教員がどのように対応したか、どのような意見をもっているかに関しては、平成17年度の試行を除いて、集約・公表してきませんでした。

一方で、近年、授業アンケート結果を踏まえて、継続的に授業改善を行うこと、いわゆるPDCAサイクルの確立が求められるようになりました。また、アンケートに協力した受講学生に教員から回答することを通して学生にフィードバックすることも必要です。このような観点から、平成26年度より、授業アンケート結果を受けての報告書を作成することといたしました。

授業アンケートの集計結果が、各教員に返された際に、報告書の作成を依頼しており、編集の上、学内に限定してホームページに掲載しました。

このたび、令和3年度の授業アンケート結果を受けて、112名の報告書をホームページに掲載することといたしました。

なお、掲載に際しては、科目ごとにまとめることとし、講義題目は明示せず、各科目のアンケート結果の評点、順位、各教員の学部名、個人名については表記していません。また、内容についても、事前に担当者の了承を得たものに限って掲載しました。これを今後の授業改善に役立てていきたいと思います。

最後に、授業アンケートの実施ならびに報告書の作成に際しては、関係各位に多大なる協力を得ました。ここに深く感謝申し上げます。

令和3年度全学教育科目  
学生による授業アンケート報告書【授業担当教員コメント編】

目 次

| 科目名等     | ページ | 科目名等             | ページ |
|----------|-----|------------------|-----|
| 【一般教育演習】 | 1   | 【共通科目】           |     |
|          |     | 体育学B             | 17  |
| 【総合科目】   |     | 情報学Ⅰ             | 17  |
| 環境と人間    | 8   | 統計学              | 17  |
| 健康と社会    | 9   |                  |     |
| 人間と文化    | 9   | 【文系基礎科目】         |     |
|          |     | 人文・社会科学の基礎       | 18  |
| 【主題別科目】  |     |                  |     |
| 思索と言語    | 11  | 【理系基礎科目】         |     |
| 歴史の視座    | 11  | 入門線形代数学・線形代数学Ⅰ・Ⅱ | 19  |
| 芸術と文学    | 12  | 入門微分積分学・微分積分学Ⅰ・Ⅱ | 19  |
| 社会の認識    | 12  | 物理学Ⅰ・Ⅱ           | 20  |
| 科学・技術の世界 | 13  | 化学Ⅰ・Ⅱ            | 21  |
|          |     | 生物学Ⅰ・Ⅱ           | 23  |
| 【外国語科目】  |     | 地球惑星科学Ⅰ・Ⅱ        | 24  |
| 英語Ⅰ      | 14  |                  |     |
| ドイツ語Ⅰ・Ⅱ  | 14  | 【日本語科目】          |     |
| 中国語Ⅰ・Ⅱ   | 14  | 日本語Ⅰ・Ⅱ           | 26  |
|          |     | 日本語演習            | 26  |
| 【外国語演習】  |     |                  |     |
| 英語技能別演習  | 15  |                  |     |
| 英語演習     | 15  |                  |     |
| 中国語演習    | 16  |                  |     |
| 外国語特別演習  | 16  |                  |     |

令和3年度全学教育科目  
学生による授業アンケート報告書【授業担当教員コメント編】

【一般教育演習】

| NO | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                                                                                                                | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                 | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                 | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                      | 備考 |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1  | 設問 8<br>教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。                                                                                                                               | 成績評価を学生の発言回数のみで行ったことで、学生の授業参加を（半強制的に）授業の中心に据えた点。                  | 教員・学生間のディスカッションだけでなく、学生間のディスカッションを増やすこと。                                             | このような成績評価は参加学生数が少ない授業でなければ難しいと思われる。本授業の参加学生数は23名だったが、授業進行はギリギリだった。                            |    |
| 2  | 自由意見<br>物理を専門的に学んでいなくても理解できる内容だったが、立ち入った質問に対してはしっかりと教員とTAが連携して対応していた。                                                                                                  | TAにも授業中の発言を許可していた点。教員の説明のフォローやTAの実体験なども述べてもらった。                   | 今回は物理を専門とするTAだったので内容のフォローをしてもらったが、もし物理を専門としない学生にTAをしてもらう場合は非専門学生視点の素朴な疑問などを述べてもらう予定。 | TAは年齢的・立場的に教員よりも学生に近い存在なので、学生の授業参加のハードルを下げる点でも、TAの授業参加は効果的だと考える。                              |    |
| 3  | 自由意見<br>プレゼンの作り方について学び、プレゼン能力が向上した                                                                                                                                     | スライドを用いた学生のプレゼンについて全員に対してフィードバックを行った。                             | スライドを用いた学生のプレゼンについて全員に対してフィードバックを行ったので、令和4年度も同様の取り組みを行う。                             | 高校段階である程度のプレゼン作成スキルを身につけている学生とそうでない学生の差が大きいと感じる。令和3年度は途中から対面で実施したので、学生が互いに作成したプレゼンを見合うことができた。 |    |
| 4  | 自由意見<br>・実際にロボットを動かして考える点<br>・SLAMを体験することができたこと                                                                                                                        | ロボットのプログラムを考えさせながら実験的に演習を行った点                                     | 論理的思考教育を重視する                                                                         | 学生の意見発表、アクティブラーニングを参考にする                                                                      |    |
| 5  | 自由意見<br>話す速さが少し遅く、スムーズに作業ができなかった                                                                                                                                       | 丁寧に話すことを心掛けていたが、遅いと感じる学生もいたようである                                  | 学生の理解度に応じて、話す速さや量を調整する                                                               |                                                                                               |    |
| 6  | 自由意見<br>前期を通してPowerPointで発表したりする機会が多かったため、とてもいい経験になり、また同時に様々な研究室について知ることができとても面白かった。                                                                                   | この授業では学習した内容のグループ発表を中心とした演習とした。将来使用する発表ツールにいち早く慣れてもらう機会を作ることができた点 | 同じ方法を令和4年度も実施している。                                                                   | R3はオンラインであったが、R4は対面による見学・発表を実施することでよりコミュニケーションをとりやすくなった。                                      |    |
| 7  | 自由意見<br>現在様々な場面で注目されているSDGsについて学び、理解を深めることができました。多様な分野の最先端で活躍している先生方の講義を聞いて、幅広い知識を身につけられたことに加え、その研究をSDGsの観点から考察することができ、良い経験となりました。グループのメンバーとも協力ができて良かったです。ありがとうございました。 | SDGsは社会問題だけでなく、大学の基礎科学にも通じることを研究現場の見学と発表演習で理解させることができた点           | 同じ方法を令和4年度も実施している。                                                                   | R3はオンラインであったが、R4は対面による見学・発表を実施することでよりコミュニケーションをとりやすくなった。                                      |    |
| 8  | 設問 5<br>教員の説明はわかりやすかった。                                                                                                                                                | 難解な説明を避け、専門知識がなくても理解できるような説明に努めた。                                 | 受講生の興味をひくような動画教材を検討したい。                                                              |                                                                                               |    |
| 9  | 設問 8<br>教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。                                                                                                                                          | 対面でもメールでも、質問に対してはなるべく丁寧に答えるよう努めた。                                 | 受講生がより発言しやすい環境を目指す。                                                                  |                                                                                               |    |
| 10 | 自由意見<br>いろいろな分野の研究を見れてよかった                                                                                                                                             | なるべく広い研究分野について、その面白さを伝えるよう努めた。                                    | さらに広い分野に触れられるように、講義内容を改めて精査する予定。                                                     |                                                                                               |    |
| 11 | 自由意見<br>課題の量がちょうどよかった                                                                                                                                                  | 課題量が過剰にならないように気を付けた点が評価されたと考えられる                                  | オムニバス授業なので個々の課題は担当教員に任されていたが事前に打ち合わせし、適切な量に関して話し合った。                                 | オムニバス授業の場合、それぞれの教員に任せる部分も多いと思いますが、授業全体でどのような方針で進めるか意見交換すると、教員としての視野を広げるといふ意味でもよいと思います。        |    |

| N0 | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                    | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                         | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                                                                     | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                             | 備考 |
|----|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 12 | 自由意見<br>レポートの分量を決めないでほしい（もっとたくさん書きたい）                                      | 1名からの意見です。多数の方は課題量がちょうどいいと答えていたので適切であったと考えているが、自由度を持たせてもいいかと感じました。        | 過剰な課題量にならないように考慮した結果このような意見を頂いた。やる気がある人のために、課題の上限は決めず進めるという方向で進めるか検討する。                                                                                  | オムニバス授業であるため、課題の大体の量に関しては担当教員で話し合っていたが、その際に上限を決めるかに関しては話し合っていなかったため、今後は議題としてあげたいと思う。 |    |
| 13 | 自由意見<br>質問の返事が来なかった                                                        | オンラインでの授業であったので、基本はELMSでの質問受付となったが、タイミングによっては質問を見逃してしまうこともあったかと思っています。    | これまで以上に気を付けて定期的にELMSをチェックする予定である。学生から質問があると自動でメール配信される機能があると便利かもしれない。                                                                                    | ELMS上で質問を受け付けていた場合に教員がその質問を見逃さない方法があれば教えて欲しいです。                                      |    |
| 14 | 設問12<br>質問・発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。                                 | 授業時間内で時間がとれなかったり、工夫が足りなかった。                                               | 今後、授業中に、もっと発言してもらおうように工夫したい。（コロナでOnline中心だったとしても）                                                                                                        | 授業中に、学生の発言を促すよう工夫されたい。                                                               |    |
| 15 | 自由意見<br>「先生が体調不良でお休みなさった回は……補足説明を後日したり……すべきであったように思われる」                    | 突発的な出来事で、対応を忘れてしまいました。学生をよく見ていなかったことが発覚しました。                              | 今後は、補足資料や説明等をしたい。                                                                                                                                        | 休んだ回の次に、何か分からなかったことはないか、不安なことはないかなど、確認された。                                           |    |
| 16 | 自由意見<br>「講師の先生は大変かもしれませんが、各課題に対してよかった点や改善すべき点を伝えていただければさらに効果的な学習ができたと思います」 | これについては有り体にいえば、サボりました。反省です。                                               | 今後は、提出された課題への答えに対し、適宜コメントを出していきたい。                                                                                                                       | 学生からの提出答案については、何かしらのリアクションをすべき。                                                      |    |
| 17 | 自由意見<br>家から大学の計算機で演習できたこと。<br>ソフトに関する説明を増やしてほしいとの要望。                       | ソフトに関する説明を増やしてほしいとの要望について                                                 | 令和4年度はBlack box的操作を減らすために、演習で扱うデータを変えている。                                                                                                                |                                                                                      |    |
| 18 | 自由意見<br>グループ学習、コメントスクリーンの利用                                                | コメントスクリーンを利用したことがよかった                                                     | コメントスクリーンを継続的に利用しようと思う                                                                                                                                   | コメントスクリーンを大学で契約すると、敷居が低くなると思う                                                        |    |
| 19 | 設問 8<br>教員は効果的に学生の参加を促した                                                   | 全般的に評価5を受けるような授業をしてきた一方、評価3があった。これは、教員が促さなくても学生が授業に参加していたことを反映した評価かもしれない。 | 理想としては、教員が参加を促す必要は無いと考えられる。このことから、最終的には評価点3を目指していくことが望ましいと感じた。                                                                                           | 数値化されたアンケート結果に一喜一憂しなくても良いように感じています。                                                  |    |
| 20 | 設問 6<br>教員の熱意が伝わってきた                                                       | 学生の名前を覚えて、学生と対話している点が評価されたと思う。                                            | 今後も、学生を尊重し、学生を主体とした授業を行っていききたい。一方で、令和4年度は対面授業になり、学生がマスクをして受講していることや、必要以上の対話に注意を払うべき立場であったこと、受講学生数を増やしたことなどから、学生の顔と名前を一致させにくくなった。今後の対応策を考えなくてはならないと感じている。 | 特になし                                                                                 |    |
| 21 | 設問 9<br>教員は学生の質問・発言等に適切に対応した                                               | 学生の名前を覚えて、学生と対話している点が評価されたと思う。                                            | 今後も、学生を尊重し、学生を主体とした授業を行っていききたい。一方で、令和4年度は対面授業になり、学生がマスクをして受講していることや、必要以上の対話に注意を払うべき立場であったこと、受講学生数を増やしたことなどから、学生の顔と名前を一致させにくくなった。今後の対応策を考えなくてはならないと感じている。 | 特になし                                                                                 |    |
| 22 | 自由意見<br>良かったと思う点<br>・専門の知識がなくても理解できるが多かったです<br>・説明解説がわかりやすかった              | 各教員、限られた時間の中で講義をするポイントを絞り、入門的な内容で行ったのが良かったと考えています                         | 今後も様々な学部からの受講生がいることを念頭におき、間口の広い講義を展開していきたいと考えています。                                                                                                       | 専門用語を使用する際には必ず説明をいれ、わかり易い言葉で講義を行うこと                                                  |    |

| N0 | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                           | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                        | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                               | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                              | 備 考 |
|----|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----|
| 23 | 自由意見<br>良かったと思う点<br>様々な分野の知識を得られた                                 | 8人の教員が専門の内容を紹介するオムニバス形式で行いました。内容は様々でしたが、健康科学という大枠の中で講義を行ったので、統一感を保ちながらも多様な講義ができたと考えています。 | 次年度以降も健康科学という大枠の中で、多様な講義を展開したいと考えています。                                             | オムニバス形式で行う際には他の教員と共通する部分と違う部分を強調すると学生も聞きやすいのではと思います。                  |     |
| 24 | 自由意見<br>改善したほうがいいと思う点講義動画が途中で止まったり音声が届かなくなったりすることがあった             | 動画作成のスキルを各自上げていきたいと思っています。                                                               | 適宜、必要な機材の購入を検討します。                                                                 | 動画作成の際は事前に室内の音声・照明環境を確認しておくのが有効だと感じました。                               |     |
| 25 | 自由意見<br>実験・体験等がよかった。身近な無線技術の知識だけでなく広い話題を知ったことでIT全般への学習意欲が高まった。    | 対面で実験・体験学習を行なった部分は好評であった。継続したい。技術内容だけでなく、関連する広い話題を提供することが重要であると認識した。                     | 実験・デモ・標準化体験ゲームを継続する。また学生の参加を促す工夫について試行したい。                                         | 特になし                                                                  |     |
| 26 | 異なる分野の研究室の研究を知ることができた                                             | なるべく研究分野が重ならないように参加研究室を調整した                                                              | コロナ禍で研究室訪問がzoomでの訪問になってしまったので、これをできる限り対面に戻す                                        | 研究室見学が入る場合には、R3年度は仕方ないにしても、対面の方が教育効果が高いと思われる                          |     |
| 27 | 設問8<br>教員は効果的に学生の参加を促した。                                          | 予習（事前に教科書を読み、練習問題を解いて提出すること）と授業中のグループワークを通じて、学生の積極的な授業参加を促した点。                           | グループワークをより効果的なものにして学生の積極的参加を一層促進するため、授業中のグループ内における学生同士の連携を適宜サポートすることを心掛けたい。        | 課題などを通じて学生が事前に教科書の内容に目を通すよう仕向けるのがよい。                                  |     |
| 28 | 自由意見<br>授業時間をあまり超えないようにしてほしいです。                                   | 時間内に授業が終わらないことが度々あった点。                                                                   | グループワークで取り組む問題数を減らす予定。                                                             | すべての学生に発表の機会を与えようとする、グループワークで取り組む問題数が多くなり、終了時間を超えてしまうことがあるため注意した方がよい。 |     |
| 29 | 自由意見<br>レポート執筆の機会が多く、フィードバックも良かった。                                | フィードバックの内容について、教員からだけの指摘のみならず、学生が複数の小グループに分かれて討論し合う点が評価されたようである。                         | 学生の評価の通り、今後も論文指導科目では執筆したレポートに対するフィードバックとグループでの討論に十分な時間を割り当てるようにしたい。                |                                                                       |     |
| 30 | 自由意見<br>配布資料やスライドをダウンロードできるよう提供して欲しい。                             | 配布資料はダウンロードできるようにしたのだが、スライドはオンライン授業での説明に用いただけで、ダウンロードできるようにはしなかった。                       | もしも教室の対面授業ではなく、オンライン授業であるならば、スライドについてもダウンロードできるよう配慮したい。                            |                                                                       |     |
| 31 | 自由意見<br>対面形式でのグループディスカッションが良い。全く医療のことを知らなくても学べるのが良い。              | 良かった点<br>実習で医療器具に触れるところや学生が発言しやすいところ。<br>改善点<br>ミニレポートは後で提出する方がよい。時間がもったいない。             | 改善計画<br>ミニレポートの時間を最後に記入する時間を取っていたが、全てELMSで授業後にらせるように改め、学生が楽しんで参加できる授業時間なるべく長く確保する。 | 英語の資料を適切に用いることで、英語が苦手な学生、大学入学以降、英語を勉強しなくなった学生の学習モチベーションを高めることができること。  |     |
| 32 | 自由意見<br>レポート、パワーポイントを作成し発表するという流れが繰り返されることで作業になれるとともに技術を身につけやすかった | ワードを使っのレポート作成および提出法からはじまり、パワーポイントでのプレゼン資料作成など、基本的なことをとりあげた。                              | 令和4年度も同様の授業を実施している。対面で行っているため、学生の反応をみながら教育効果は高まっている。                               | 基本的なソフトの使い方、提出物を出すときの基本などを、入学直後に教えることは意義が大きいと考える。                     |     |
| 33 | 自由意見<br>レポートやパワーポイントの使い方を学ぶことができてクオリティが上がったので良かったです。              | 3クール、同じような作業を繰り返すことにより、スキルがアップし、意識せずにソフトが使えるようになっている。                                    | クールごとの到達点を変え、要求を高いものへしていく                                                          | 講義・説明⇒グループ討論⇒発表・討論、というような、授業全体の枠組みを決めると、教員も学生も進めやすい。                  |     |
| 34 | 自由意見<br>先生の話きく、生徒同士で話し合う、発表するという3部構成になっていた。                       | わかりやすい構成、そしてそれを初回講義に明示したのがよかった。                                                          | 令和4年度も同様の授業を実施している。対面で行っているため、学生同士の相互作用が非常に強い。                                     | 対面とオンラインどちらでも実施可能な授業スタイルを確立していくことは、どのような辞退にも対応可能となる。                  |     |
| 35 | 自由意見<br>グループワークを通して、自分の意見を述べる練習になった。                              | ZOOMのブレイクアウトルームでグループワークであったが、それでもアウトプットの場面を確保することができた                                    | 令和4年度も同様の授業を実施している。対面で行っているため、学生同士の相互作用が非常に強い。                                     | 特に一般教育演習においては、積極的にアウトプットの機会を与えたほうがよいと考える。                             |     |

| N0 | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                        | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                     | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                     | 備考 |
|----|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----|
| 36 | 自由意見<br>いろいろな先生の話が聞けて、分かりやすかったですし、知らない分野の研究に触れることができた、楽しかった。   | 化学の視点からの生命科学に興味を持ってもらった。                                                              | 基礎知識から最先端の研究成果までをわかりやすく講義した。                                                                        | 知識から実際の研究へのつながりを示す。                                          |    |
| 37 | 自由意見<br>実際の研究についての、大学院生からの話や研究室について知ることができた。                   | 最先端の研究に大きな興味を持ってもらった。一年生の間に学部所属する教員と自由に意見交換できる場として有効であった。                             | 研究の現場を学生に経験させ、大学院生との話をする時間を設けた。                                                                     | 教員と学生が双方向でやり取りができると学生にとって満足感をえられる講義になると思われる。                 |    |
| 38 | 自由意見<br>質問を促す場面が授業内で何回もあり、意欲が高まった。                             | 質問をすることで、より理解が深まっている。                                                                 | 講義の質問に加え、Google formを使用した。                                                                          | 基本原理に基づいた視点から学生の質問に答えることで、学生が論理思考の概要に触れられると思われる。             |    |
| 39 | 自由意見<br>少しだけ難しい内容もあったので、予め予習しておく必要がある内容等を示されれば、より理解を深めることが出来る。 | 専門用語説明が不足しているものがあったと思われる。                                                             | 予習した方が良いキーワードなどを示す。                                                                                 |                                                              |    |
| 40 | 設問4<br>授業内容の難易度                                                | 5をつけた学生が0%であったことから、難しく感じたようだ。                                                         | 通常の授業に比べ、その場で作業してもらう科目なので、事前の案内などが少なかったのが、学生にとって難しく感じる原因だったと思われる。                                   | 演習科目であっても、希望する学生は予習できる状況を作っておく方が学生によっては取り組みやすく感じるのかもしれない。    |    |
| 41 | 自由意見                                                           | 普段の授業ではできないことができ、考える力がついた。                                                            | 科目の性質上、体験型の内容であるが、その通り受け取ってもらえた。実験系であったが意外にもオンラインでも満足してもらえたので、対面になればもっと満足度が上がると期待したい。               |                                                              |    |
| 42 | 自由意見<br>グループ活動                                                 | グループ活動が多く、親睦を深めることができた。                                                               | Zoomのブレイクアウトルームを使用したのが、顔出しを嫌がる人もいなく、予想していた以上に和気あいあいとしていた。                                           |                                                              |    |
| 43 | 自由意見<br>授業の難易度                                                 | もう少し難易度を下げて欲しいと思った                                                                    | 演習内容に実験系と計算系があり、初めの4回はオンラインと決まっていたので、計算系のテーマから開始した。学生によっては「化学」のイメージと違い驚いてしまったようである。複数春テーマの配置を再検討する。 | 少しギャプがあるとすぐに困難に感じてしまう学生がいるので、高校卒業直後であるという点を念頭に置いておくといいと思います。 |    |
| 44 | 設問7<br>教員の話し方は聞き取りやすかった。                                       | オンラインであることを意識し、ゆっくり、はっきり話すように心がけたこと。                                                  | 対面でも速度に気をつけながら、はっきりと話すことを心がける。                                                                      | 次の話に移る前に少し間を置くなど、進行に余裕を持たせる。                                 |    |
| 45 | 自由意見<br>グループ発表が多すぎる。                                           | この授業における、グループでの活動の意図の説明。                                                              | グループ発表の活動の比重が大きいことについて、シラバスに明記する。                                                                   | シラバスと初回の説明において、授業内活動の特徴について、十分に説明した方がよい。                     |    |
| 46 | 自由意見<br>複数の先生方がそれぞれの分野で話してくれた。フレッシュマンセミナーとしては理想的。              | 経系（数理モデル）を大事にしつつ多様な研究者がわかりやすく専門を話したこと。                                                | 努力を継続します。                                                                                           |                                                              |    |
| 47 | 自由意見<br>機器のトラブルで待たされることがあった。                                   | 早めに教室で準備をするように教員間で確認します。                                                              |                                                                                                     |                                                              |    |
| 48 | 自由意見<br>オンラインで行われたこと。                                          | 学生にとって、対面／オンラインのどちらを希望するか、については個人差があるのでしよう。むしろ時限前後の授業が対面かオンラインかが移動の時間を考えた時に重要となるであろう。 | 授業の最初に希望を訊く。                                                                                        | とくになし                                                        |    |
| 49 | 自由意見<br>ディスカッションを行ったこと。                                        | 講義2：プレゼン（ディスカッション）1の割合で授業を構成した。                                                       | 講義：プレゼンの割合は受講者数に左右されるため、受講者数が安定してくれるとありがたい。                                                         | とくになし                                                        |    |

| NO | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                                                         | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                                                                                                                                                             | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                                                                                                  | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                               | 備 考 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 50 | 設問1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。<br>設問2 授業はシラバスにそって行われていた。                                                     | 授業計画と、各回で何を学び、それがどうつながっているのか、どのタイミングでどのような意図の課題に取り組んでもらうかの設計をシラバス作成時に熟考した点が学生にも伝わったと考えられる。                                                                                                                                    | シラバスをさらにブラッシュアップし、授業目標と各回の授業計画とをさらに結び付けた。                                                                                                                                             | シラバスの改善、毎回の授業が授業全体のどの部分を占め、どこにつながっているのかを意識させる工夫                                                                        |     |
| 51 | 自由意見<br>最終的に一つの修正レポートとチェック表にまとめる流れは学びやすかった／これからのためになる／今後のレポート作成の基本となる、活用できる                                     | 学習の成果を「チェック表」という形にまとめさせ、最終成果物として提出させた。このチェック表は各自が進級後にもレポート作成時に利用できるように設計したものであったが、毎回の授業内容の習得においてもプラスになっていたようである。                                                                                                              | チェック表の完成度にばらつきがあったので、最終的に一定水準のチェック表をすべての受講生が作成できるよう、フィードバックのタイミングを増やしたい。「オンライン版大福帳」のような形式にしても良いかもしれない。                                                                                |                                                                                                                        |     |
| 52 | 自由意見<br>ハイフレックス制なのが良かった。<br>コメントスクリーンやディスコードなど、教員と気軽に会話できる環境があり、良かった。<br>リアルタイムで質問できる点。<br>オンラインならではの機能を活用していた。 | 授業をハイフレックス型とし、毎回の授業を録画してMoodleにアップロードして各自復習に使えるようにした。コメントスクリーンやディスコードなどを使って、学生とどうコミュニケーションができるか実験した。うまくいかない部分もあったが、こうした「試してみる」「実験してみる」という姿勢は、学生にとっても好印象だったようである。学生と一緒に色々と実験してみる良い機会であり、また学生と一緒に授業を作っていく過程を体験でき、多くの学びや気づきがあった。 | みんなで一緒に授業を作っていくことを受講生にも意識してもらい、学生にも意見を聞きながら今後も積極的に様々なツールを試していきたい。                                                                                                                     |                                                                                                                        |     |
| 53 | 自由意見<br>アイスブレイク自体は良かったがその後学生同士で交流する機会がなかった／生徒同士のコミュニケーションを取る回が少なかった／もっと手を動かす時間を増やした方が面白い                        | 授業をハイフレックスとしたことで、授業内でのグループワークを行うことができなかった。                                                                                                                                                                                    | アイスブレイクとピアレビューは機能していたが、それぞれの活動がつながりを欠いていたので、その間を繋げるグループワークを組み込み、毎回の授業や最終成果物のブラッシュアップ作業と関連させるように設計を見直したい。ハイフレックス型授業における、対面受講者とオンライン受講者の混合によるグループワークはまだ解決策を見いだせていない状況だが、何らかの方法に挑戦してみたい。 |                                                                                                                        |     |
| 54 | 自由意見<br>実験・解析を体験することができた                                                                                        | 実験・解析（実習）の機会をできるだけ設けた点                                                                                                                                                                                                        | 本講義の主な対象が1年生で、昨年度に続きコロナ禍によるオンライン講義が多かったため、同学年の友達作りがしづらかったとのこと。この点も考慮して実験・解析では可能な限り少人数グループとして参加してもらった。グループにおける学生同士のコミュニケーションは促されたように思える。                                               | 実験・実習への参加が重要な講義であったので、コロナ禍において感染対策に配慮した上でできる限り自分の肌でも感じられるような講義（実験実習参加）構成になるようにした。ただこのことは本講義が比較的少人数な形態だったため可能だったことは大きい。 |     |
| 55 | 自由意見<br>グループ活動の実施により意欲的に授業に参加できた                                                                                | 実験・解析（実習）を4名程度の少人数グループで実施した点                                                                                                                                                                                                  | 同上                                                                                                                                                                                    | 同上                                                                                                                     |     |
| 56 | 自由意見<br>TAが操作方法を実演しながら実習を同時に進めていく形は理解しやすかった、わからないところも尋ねやすかった                                                    | 実験・解析（実習）には複雑な操作を含むツール利用があったため、TAや教員による実演・相談の機会を設けた点                                                                                                                                                                          | TAや教員による実演・相談の機会を設けた点は効果的であったと思われる。関連資料も可能な限りELMS Moodleで公開していたが、Moodleを活用したより効率的な学習機会の提供は可能だったと思われる。                                                                                 | 実験・解析などの実習ではツールなど利用して学生本人が主体的に取り組むことは重要であると思われるが、慣れないツールの操作に戸惑う学生は少なくないと感じた。教員・TAによるきめ細かな対応はその上で効果的である。                |     |

| N0 | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                        | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                          | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                         | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                        | 備 考 |
|----|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 57 | 自由意見<br>レポートで問われる内容は考察しがいがあった。授業中においてその回答のフィードバックが行われた。        | レポートのフィードバックはできるだけ行うようにした点                                                 | レポートにフィードバックについてもELMS Moodleを活用したより効率的な学習機会の提供は可能だったと思われる。                                                   | 学生のレポート回答例を毎回講義の際に紹介することで、学生は自分以外の多様な回答・意見にも触れることでできたように感じた。                                                    |     |
| 58 | 自由意見<br>グループ発表の他に個人発表の機会があればよかった（グループ発表では少なからず他人任せになる部分が生じるため） | グループ発表機会は2回用意したが、講義時間などの制約から個人発表の機会は用意できなかった。この点については改善が必要であったと思われる。       | グループ発表の機会を減らし、その分の時間で個人発表の機会を設けても良かったと思われる。                                                                  | 実験・解析実施後に学生自ら行ったことを取りまとめて発表する機会は教育的効果が大きいと感じるが、グループと個人で発表を行うには教育効果に多少の差異があるようである。グループと個人発表の機会をいづれも設けた方た良いと思われる。 |     |
| 59 | 自由意見<br>ソフトウェアの使い方をもう少し詳しく教えてほしかった。Macを使っている人が参加しづらかった。        | 今回は複雑な操作を要するソフトウェアを利用したが、その操作方法の解説に時間を取られて、本質的な学習機会の提供に一部支障をきたした面がたしかにあった。 | 必要な機能を損なわず、利用方法がもう少し簡素なソフトウェアの選定が必要である。今回は学生個人PCを用いてソフトウェア利用をしてもらったが、OSによっては利用できない場合があった。この場合はPC貸し出しなどで対応した。 | 実験・解析などの実習を行う上でソフトウェア操作の習熟は必要であるが、この場合操作方法に習熟すること自体は教育的効果において本質的な役割を果たさないため、可能ならば隠蔽してしまっても良い                    |     |
| 60 | 設問 6<br>教員の熱意が伝わってきた                                           | 講義だけでなく、実践過程があるのでより丁寧に解説した点が評価された                                          | 引き続き、丁寧かつスピーディーな対応を心がける。                                                                                     | 学生目線で理解できる工夫が大事と思う                                                                                              |     |
| 61 | 自由意見<br>フィールドワークで理解が深まった                                       | 苫小牧研究林ならびに札幌キャンパス内での自由見学やフィールドワークを実施した                                     | 令和4年度はより実践的な野外メニューを増やす予定                                                                                     | 可能な範囲で対象を実学的に見せる工夫があると良いのでは                                                                                     |     |
| 62 | 自由意見<br>レポートのフィードバックがとても丁寧で次の回に活かすことができた                       | 複数回のレポートを学生の評価だけではなく、指導の材料と位置付けた                                           | 今後もレポートを介した指導を継続する                                                                                           | 双方向の知識のやり取り・議論が大切                                                                                               |     |
| 63 | 自由意見<br>いくら何でも延長しすぎ。                                           | 時間管理を徹底する必要がある。                                                            |                                                                                                              |                                                                                                                 |     |
| 64 | 自由意見<br>講義は時間内に終わらせてほしい。…（略）…30分以上も長引かせるのは非常識だ。                | 時間管理を徹底する必要がある。                                                            |                                                                                                              |                                                                                                                 |     |
| 65 | 自由意見<br>さまざまな分野について触れることができ、よい経験になった                           | 授業内容が広範な研究分野を含む点                                                           | 今後もこの方針を継続する予定                                                                                               |                                                                                                                 |     |
| 66 | 自由意見<br>実際に体験できることもあり、楽しみながら学ぶことができた                           | 授業内容が研究の現場における体験もしくはそれに準じた内容を含む点                                           | 今後もこの方針を継続する予定                                                                                               | 研究の現場の臨場感を学生は求めていると感じる                                                                                          |     |
| 67 | 自由意見<br>難しいことは承知しているが、実際に作物に触れる機会があったらよかった                     | 文字通りの対応が可能であると考えていない                                                       | 授業の実施形態の制約から文字通りの対応は難しいが、研究の現場の臨場感を伝える努力は継続する                                                                |                                                                                                                 |     |
| 68 | 設問 6<br>教員の熱意が伝わってきた。                                          | 日常では接することの少ない環境について、教員自身が体験し、日々考えたことをもとに説明した点が評価された。                       | 視覚的・聴覚的な教材を多く取り入れる。                                                                                          | 現象の具体的なイメージをもたせる配慮をする。                                                                                          |     |
| 69 | 設問 8<br>教員は効果的に学生の参加を促した。                                      | 研究所で観測機器や計算機、取得試料を見せた点や学生への質問、学生が推進するワークを取り入れた点が評価された。                     | 研究所見学や演示を充実させる予定。                                                                                            | 学生が「本物」に触れられるよう工夫する。                                                                                            |     |
| 70 | 自由意見<br>人数が少なく意見交換がしやすく、ディスカッションを行うことができた。                     | 受講生数が例年の6割程度で、教員と学生とのコミュニケーションが密に取れた点が評価された。                               | 学生の授業への参加は意識しているが、学生側もそれを肯定的に捉えることが確認できた。                                                                    | 学生の発言時間を確保する。                                                                                                   |     |
| 71 | 自由意見<br>意見交換の中で学生間のコミュニケーションがよりとれるとよい。                         | 少人数で学生が発言しやすい環境をつくることが評価された。それゆえ、逆に話したりない学生もでたようである。                       | 学生相互質問の時間を設けているが、これを拡充する・事前に互いの情報を開示することで、質問をさらに充実させる。                                                       | 学生の発言しやすい環境を整える。                                                                                                |     |



| NO | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                     | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点      | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと       | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                    | 備 考 |
|----|---------------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------|-----|
| 72 | 自由意見<br>意見交換の時間を設けて欲しかった。                   | グループ内のみならず、他のグループメンバーとの意見交換の時間を設ける。    | 来年度は意見交換の時間を設ける予定である。                      | 多くのメンバーとの意見交換は多様な意見に触れることや人脈作りに重要であると考えられる。 |     |
| 73 | 自由意見<br>学生発表会で質問が活発だったのが良かった                | 出席要件を「発表に対して質問を1回以上する」という設定が評価されていると思う | 本設定により、発表者の準備を促進させているという受講者の指摘もあり、次年度も継続予定 |                                             |     |
| 74 | 自由意見<br>実際に行くことはできなくても、実験や研究の様子の動画を見せてもらいたい |                                        | 次年度以降、研究室紹介の動画の見られるリンクを学生たちに伝えることとした       |                                             |     |
| 75 | 自由意見<br>ただの家庭科の授業と変わらない                     | 加工施設での実習が家庭科を想起させた可能性が考えられる            | 家庭科のカリキュラムを確認し、家庭科と異なる内容になるように留意する         |                                             |     |

【総合科目】

| NO        | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                           | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                                   | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                                          | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                          | 備 考 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 科目名：環境と人間 |                                                                                   |                                                                                                     |                                                                                                                               |                                                                                                                   |     |
| 1         | 自由意見<br>質疑応答への丁寧な対応                                                               | 各担当教員の対応が良かったものと思われる。                                                                               | 現在そのまま続けること。                                                                                                                  | 学生からの質問には丁寧に対応するよう工夫すること。                                                                                         |     |
| 2         | 自由意見<br>学習意欲が湧く興味深い内容                                                             | 感染症分野で先端の研究をしている教員を講師としてお願いしたことがよかったと思われる。                                                          | 現在そのまま続けること。                                                                                                                  | オムニバス形式の授業では、当該分野で先端の研究をしている教員を講師として集めること。                                                                        |     |
| 3         | 自由意見<br>レポートの分量、クオリティーがどの程度のを要求されているか分かりにくかった                                     | レポートの分量、クオリティーについて出題時に明示しなかったことが原因と考えられる、                                                           | 各講師にレポートの分量、クオリティーについて出題時に明示するように促す                                                                                           | レポート出題にあたっては、分量、クオリティーについて出題明示する                                                                                  |     |
| 4         | 自由意見<br>ひとつのテーマに対して、オムニバス形式による各教員の専門分野に關した多彩な講義内容が興味深かった。学科選択の参考になった。など好意的な意見が多い。 | オムニバス形式による多彩な講義内容であることが評価高かった。一方、コロナ禍で求められたオンライン授業の実施形態がオンデマンドやZoomライブなど多様であり、授業運営の統一性について不満意見もあった。 | オムニバス形式授業を維持し、より授業内容の実際を誤解なく伝えられる講義題目に変更するとともに、学科選択に有用な情報を提供する。                                                               | 対面形式授業を基本とするため、オンライン形式を一部に採用する場合でも、対面を意識した運用とし、オンデマンドは採用しない。                                                      |     |
| 5         | 自由意見<br>課題のフィードバックがほしい。                                                           | 課題のフィードバックは行っていない。                                                                                  | 課題が基本的なものであり、配付資料等で確認できる者であることから、実施の予定はない。                                                                                    |                                                                                                                   |     |
| 6         | 自由意見<br>専門的で、資料がほしい。                                                              | 資料が事前にほしい。                                                                                          | ELMS上に最低1週間前にあげるように努めている。また、ELMS上で過去の講義の資料を取り出すことができる。                                                                        |                                                                                                                   |     |
| 7         | 自由意見<br>オンデマンドで動画を出すのであれば出席を取る必要なし                                                | 同左                                                                                                  | オンデマンドの動画はあくまで授業で理解できなかった、聞き取れなかった等の場合に利用して頂くことを想定したものです。リアルタイムの時に講師側から質問したり、学生側から質問を受けることがあるので、出席とはリアルタイムで授業に参加したことを想定しています。 |                                                                                                                   |     |
| 8         | 自由意見<br>中間、期末レポートの要領を具体的に教えて欲しかった。                                                | 同左                                                                                                  | 最初のガイダンスの時にお話ししたと思います。最初の授業に出席できなかった人はオンデマンドの動画を必ず見るようにとレポート提出前の授業でお伝えしてあります。                                                 |                                                                                                                   |     |
| 9         | 自由意見<br>出席はチャットではなくZoom参加者一覧で把握できないのか。                                            | 同左                                                                                                  | Zoom参加者一覧ではアカウント名に学籍番号と正式な名前を使用していない人もいて把握は困難と思いました。                                                                          |                                                                                                                   |     |
| 10        | 自由意見<br>北海道ならではの授業であり、北海道の自然について深く考えるきっかけとなった。                                    | オムニバス形式で、様々な分野からの講義が盛り込まれていた点。一方、授業によっては内容が一部重複していたので、できる限り重複の内容は避けるよう努力する。                         | 授業の講師陣が中心となって出版した教科書を使用しているが、さらに最新の情報を授業に盛り込む予定である。                                                                           | 北海道に関わる内容を紹介しているが、地域特異的な内容にとどまらず、世界に発信できるように工夫すること。オムニバス形式で行っており、ある講師が別の講師の講義を聴くこともできるため、学生だけではなく教員も考えを深めることができた。 |     |
| 11        | 自由意見<br>教員の熱意が伝わってきた                                                              | オムニバス形式で各教員の研究分野を伝えたので、熱意が伝わりやすかったと思われる。                                                            | 学生は教員の熱意を敏感に感じ取るので、引き続き、研究の面白さを伝えられるように工夫をしたい。                                                                                |                                                                                                                   |     |
| 12        | 自由意見<br>オムニバス形式で選択式のレポートにおいて、教員間でレポートの難易度が異なっていた                                  | レポートの負担を減らすため、複数教員のレポートから選択できるような方式を試行したが、レポート課題の難易度が異なっていた。                                        | 次回は同じような難易度のレポート課題から選択できるようにしたい。                                                                                              |                                                                                                                   |     |

| NO        | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                           | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                                       | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                   | 備 考 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----|
| 科目名：健康と社会 |                                                                   |                                                                                                         |                                                                                     |                                                                            |     |
| 1         | 自由意見<br>オムニバス形式で内容に関連していることが多く、とても分かりやすかった。                       | 各担当教員に分かり易い内容にすることを依頼しており、今後も継続する。                                                                      | 方針を継続                                                                               |                                                                            |     |
| 2         | 自由意見<br>講義資料の公開の打ち切り                                              | 一部の講義資料で公開を一旦打ち切ったものがあった。                                                                               | 学生の要望があり再公開した。                                                                      |                                                                            |     |
| 3         | 設問9<br>教員は学生の質問・発言等に適切に対応した                                       | 学生の質問に丁寧に回答した点                                                                                          | 学生にさらに質問を促す予定                                                                       | 質疑応答の時間を多めに取ること                                                            |     |
| 4         | 自由意見<br>文系には少し難しかった                                               | 専門用語を使用する際に、定義や使用例等を詳細に説明する点                                                                            | 令和4年度にこの改善点を取り入れている                                                                 | オムニバス方式の場合、教員間で意識の統一を図ることが有用と考えられる                                         |     |
| 5         | 自由意見<br>初回・2回目を除き、以降は対面授業が出来たことが良かった                              | 感染予防に十分注意し、本授業がきっかけの感染者をクラスから一人も出さなかった点                                                                 | 機会あるごとに、複数の教員により、科学的な見地から、ワクチン接種を積極的に勧めたい。                                          | 根拠のある徹底した感染管理を施行することを、授業の中でも繰り返し説明した。                                      |     |
| 6         | 自由意見<br>毎回、異なった分野のいろいろな専門の先生の話が聞けて良かった                            | 医療各分野の最先端の情報を、新入生や文系の学生にも分かりやすく取り上げた点                                                                   | 各講師が、毎年、それぞれの専門分野の内容をリニューアルし最新のPPTに更新した。                                            | 保健医療は、医療側からの見方だけでなく、患者側からの立場も重要と考えている。                                     |     |
| 7         | 設問2<br>授業はシラバスにそって行われた。<br>設問11<br>出席率は（ ）であった。                   | はじめに日程を提示している点。シラバスに記載されている到達目標が7～8割達成された点。授業は全体に満足できるものであったと評価された点。                                    | 講義資料、AV機器等の使われ方が効果的であった。授業内容の難易度が適切であった。授業で要求される作業量が適切であった。                         | 授業の目標、内容、評価方法を明快に伝えることは有益であると感じる。                                          |     |
| 8         | 自由意見<br>個々の授業が深いもので、様々な分野への関心が高まった。<br>追加設問<br>人間や社会の多様性に対する理解の評価 | 本学教員及び外部講師により、水産物を食べる意味と背景、水産物利用の歴史と将来、水産物の健康増進への貢献など、それぞれの専門分野から講義を行った点。                               | できる限り多様な分野の本学教員及び外部講師（他大学教員及び企業職員）が担当することで、種々の観点から水産物利用の意義と手法、我々の健康維持・増進との関係を教えている。 | 多様な分野の教員及び外部講師が担当するオムニバス形式の授業は有益であると感じる。                                   |     |
| 9         | 自由意見<br>化学式等の解説をもう少ししてほしい（文系の人は何を書いているかわからないと思うので）。               | 各担当教員がそれぞれの専門分野から講義を行なった点及びオンライン授業であった点。                                                                | R4年度は対面で授業を実施する予定。今後、補助資料をELMSにアップするなどして、講義内容の理解及び予習・復習に時間を費やすことを促す予定。              | ELMSの機能を駆使することで、授業での発言や内容への質問など、予習・復習を含め、学生の積極的な参加をより促せると考えられた。            |     |
| 科目名：人間と文化 |                                                                   |                                                                                                         |                                                                                     |                                                                            |     |
| 1         | 設問16<br>授業は全体として満足できるものであった                                       | 評価の平均値が極めて高かった。ほとんどの講義がオンラインで行われる中、念入りの対策を取り対面で実施したこと、日本棋院（囲碁の専門家が所属する組織）の支援を得て丁寧な指導を行ったことが評価されたと考えている。 | 引き続き、日本棋院の協力を得られるよう調整を行う。また、講義の実施方法についても良さを失わないよう継続する。                              | 講義に外部の専門家の協力を得ることは、講義に新たな刺激を与え、効果がある。また、受講生の交流を伴う対面講義の良さを学生は実感しているように思います。 |     |
| 2         | 自由意見<br>囲碁について学ぶにとどまらず、人工知能についても学べて非常に有意義だった。                     | AIに関する講義は囲碁への応用に焦点を絞って、その内容が確実に伝わるような構成としたのが良かった。                                                       | AIの囲碁への導入の概念について、細かい技術的内容に立ち入りすぎず、全体像がつかめるよう工夫する。また、囲碁AIとの対戦機会はしっかり確保する。            | 講義の中で伝えられる内容と量を考慮して講義の準備を行う。                                               |     |
| 3         | 自由意見<br>説明とスライドが分かりやすい、図や写真が多く使われていて分かりやすかった。                     | 分かりやすく説明したことが評価された。                                                                                     | 図や写真をうまく使って、分かりやすいスライドを作成した。                                                        | スライドのなかで図や写真をうまく使うこと。                                                      |     |
| 4         | 自由意見<br>授業日程や予習範囲をより明示的に示して欲しい。                                   | 授業日程や予習範囲の説明が不十分という学生がいた。                                                                               | 授業日程と予習範囲についてより明確な説明を行う必要があった。                                                      | 授業日程と予習範囲の説明をすべての学生に分かりやすく説明すること。                                          |     |

| NO | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略              | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                 | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと          | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                             | 備 考 |
|----|--------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----|
| 5  | 設問 9<br>教員は学生の質問：発言等に適切に対応した。        | 概ね適切に対応したと評価された。                                  | 場合によっては、翌週の講義で答えるなど、学生の質問にしっかり答える努力をした。       | 講義の時間配分をうまく行っ<br>て、質問の時間を確保すること。                     |     |
| 6  | 自由意見<br>4名の担当教員の連携が取れていない印象があった。     | 4名の担当教員で、授業運営の方法や課題の提出方法、課題の分量などについて統一をすることが望ましい。 | 令和4年度の担当教員の間でミーティングを持ち、情報共有と意見交換をすでに実施。       | 特になし。                                                |     |
| 7  | 自由意見<br>オンデマンドで視聴する授業では、理解が必ずしも進まない。 | オンデマンドの授業の割合が高いことには困難があるかもしれない。                   | コロナ感染の状況がこれまでほど深刻ではない令和4年度には、対面授業が増える予定である。   | 特になし。                                                |     |
| 8  | 自由意見<br>コメントシートを統一してほしい              | 複数の教員による多様な授業内容                                   | 各教員のスタイルがあるため強要しないが、科目責任者がコメントシートフォーマットを提案    |                                                      |     |
| 9  | 自由意見<br>ZOOMトラブルがあった                 | 設定の事前確認をした点                                       | 事前確認をしても、教員によって設定確認が間違っていた場合があったので、事前確認を複数する。 |                                                      |     |
| 10 | 設問 8<br>教員は効果的に学生の参加を促した             | 他項目に比べて評価が低かった。オムニバス形式であったため、各教員の講義が時間ギリギリになっていた。 | 講義内容を削ってでも、質疑の時間を設けるようにした方がよいと思われる。           | 各教員へ質疑の時間を設けるように申し合わせておいた方が満足度が上がると思われる。             |     |
| 11 | 自由意見<br>授業の映像が後から見れることが復習に役だった。      | オンラインだったため、講義後に録画をアップしていた点。                       | オンラインの場合、録画をアップすることを、コロナ以後おこなうようになった。         | 録画は学生のレポート作成に役立つと思われる。しかし、それによりオンタイムでの授業を欠席する危険性もある。 |     |

【主題別科目】

| NO        | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                              | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                                                                                     | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                                                              | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                                                      | 備 考 |
|-----------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 科目名：思索と言語 |                                                      |                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                               |     |
| 1         | 設問 6<br>教科書を用意し、教員の熱意が感じられたが、扱う事項が少し多すぎる気がした。        | 教科書を執筆したことで、講義内容が把握しやすくなった反面、扱う事項が多くなったのは事実だが、すべての事項を記憶する必要はなく、重要な点を中心に理解すればよいのであり、情報の取捨選択能力の鍛錬になると思われる。                                              | 対面授業の再開を受けて、重要事項を整理して板書するなどして、体系的把握を促すように心がけたい。                                                                                                   | 授業に必要な教科書を執筆することが推奨されるように思われる。                                                                                                                |     |
| 2         | 自由意見<br>講義の合間に音楽を流すことで、気分転換になった。                     | オンデマンド形式でのオンライン授業では、対面授業に比べて受講生にかなりの集中を求めることになるため、ある程度の息抜きが必要と思われる。                                                                                   | 対面授業の再開を受けて、息抜きの必要性については再考が必要と考えている。                                                                                                              | 学問的にも言語と音楽との関係には示唆的な面があり、一考に値するだろう。                                                                                                           |     |
| 3         | 自由意見<br>授業の際、前回のコメントシートをいくつか取り上げそれに応答するというのが理解に役立った。 | コメントシートへの応答は、復習としても、また学生の集中力アップという意味でも有意義だと感じた。                                                                                                       | 引き続き、コメントシートへの応答を行なっていく。                                                                                                                          | コメントシートへの応答は、こちらがコメントシートをきちんと読んでいることを学生にメッセージとして伝える意味もあり、学生がきちんとしたコメントを書くためのモチベーションとなる。                                                       |     |
| 4         | その他<br>オンラインで行ったこともあり、その場で口頭で学生の質問に応答する機会がほぼなかった。    | その場で口頭で質問に答える機会がやはり必要だと感じた。                                                                                                                           | 令和4年度は教室での授業がメインとなるので、口頭での質疑の機会を積極的に設ける。                                                                                                          | やはり口頭での質疑の機会があれば、せっかくの疑問の種や発想の種を見逃してしまう。                                                                                                      |     |
| 5         | 設問 5 教員の説明はわかりやすかった                                  | 新型コロナウイルス対策として、2年連続でオンデマンド動画による授業がメインとなった。オンデマンド授業1年目となる令和2年度での、手話実技のビデオ教材を、よりわかりやすく、学びやすい内容に改善できたことが、今回の評価につながったと考えられる。                              | 手話実技のビデオ教材に盛り込んだ学習量(視聴30分程度の分量)を、次年度以降の対面授業での標準的な学習量とする。加えて、対面授業が実現できるなら、感染症対策とのバランスを図りつつ、相互コミュニケーションを体験できる時間を多く確保する。これによって、よりわかりやすく、楽しめる授業を展開する。 | 手話実技のビデオ教材による学習では、お互いに手話で会話してみる機会が作れず、学習の到達度がわかりにくい。そこでこのビデオ教材では、回を重ねるごとに日本語音声による読み取り通訳の量を減らし、手話で手話を学ぶ形に誘導し、自分が今、手話を読めているという、気付きと自信を持てるようにした。 |     |
| 6         | 設問 6 教員の熱意が伝わってきた                                    | 手話は独立した言語であり、手型や文法のルールがある。学生から毎回提出される手話表出の動画に対して、手型や文法の基本を細かく、丁寧にチェックし、コメントやアドバイスを返した。また講義編のレポートについても全てコメントやアドバイスを返した。これらが教員の熱意として、とらえていただけたものと考えている。 | 次年度授業で、対面授業が実現できるなら、表出の誤り等もその場で修正できるので、手話実技の指導はより行いやすくなる。対面授業ができるならば、細かさや丁寧さを保ちつつ、リアルタイムでのアドバイスをを行うことで、学生の技術向上を図れる。                               | 1年前の、令和2年度のオンデマンド授業では、他の授業で提出物を出しても、教員から反応がなく、提出自体が無事でできているのかどうかも不安になる旨、コメントが寄せられていた。大学は教育機関でもあるので、授業形式がどうであれ、学生とのコミュニケーションを行うことは大切と考える。      |     |
| 7         | 自由意見<br>「対面授業を増やしてほしい」旨の意見に対して。                      | 自由意見で、対面授業を増やしてほしい旨の意見が複数あった。講師自身も手話の実技には、対面授業が効果的であることをよく理解している。しかし、対面授業ができたのは2回のみだった。その2回だけの経験でも、対面授業による手話の学習の楽しさが伝わったゆえの意見であろうと考える。                | 未知の感染症への対策に関することなので、講師だけで決められることではないが、大学の方針も見つつ、次年度以降は対面授業を実現できる可能性をさぐりたい。                                                                        | 想定外の新型コロナウイルス対策により、授業のやり方が大きく変わった。2年にわたるオンデマンド授業を通して、手話を学ぶ授業においてはむしろ、対面で学ぶことの有意義さを再確認できたと考えている。                                               |     |
| 科目名：歴史の視座 |                                                      |                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                               |     |
| 1         | 自由意見<br>オンデマンドの授業だったので、自分の好きな時に受講できる点です。             | オンデマンドでは、受講時間が自由に選べる点や、繰り返し視聴できる点が評価されている。                                                                                                            | オンデマンド形式の授業は、今後実施されないかもしれないが、ELMSを活用した教材の充実を図りたい。                                                                                                 | オンデマンド教材の利点は、今後何らかの形で生かす必要がある。                                                                                                                |     |
| 2         | 自由意見<br>受講生が多すぎてフィードバックコメントを確認できていない点。               | フィードバックコメントを、受講生が多すぎるため定期的に返せなかった。                                                                                                                    | 自由意見にあるように、受講生の上限設定や、○×問題の小テストを検討する必要がある。                                                                                                         | 受講生の上限設定、小テスト作成方法の工夫など。                                                                                                                       |     |
| 科目名：芸術と文学 |                                                      |                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                               |     |

| NO        | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                          | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                               | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                         | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                                                              | 備考 |
|-----------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1         | 設問 6<br>教員の熱意が伝わってきた                             | 毎回の授業内容について、要点を配布資料に記載した点                                       | 授業の要点について、歴史的背景を詳細に説明した                                                      | 毎回の授業に対する学生のコメント・質問に、次回の授業で講評・回答するなどのフィードバックを行なった                                                                                                     |    |
| 2         | 自由意見<br>フィードバックからも全く予想もしていなかった話を聞いて面白かったです。      | 学生が自ら学習できるように、参考文献や視聴覚資料を提示した点                                  | 大学図書館およびインターネット上で閲覧・視聴可能な参考文献・視聴覚資料を配布した                                     | 毎回の授業に対する学生のコメント・質問に合わせ、追加の参考文献や視聴覚資料を提示した                                                                                                            |    |
| 3         | 設問 6<br>教員の熱意が伝わってきた                             | 自分の興味のあることを教材に使用した点                                             | 同種の教材を増加させた。                                                                 | 教員自身が楽しめる授業を心掛けることが結局良い結果につながると思われる。                                                                                                                  |    |
| 4         | 自由意見<br>実際に動画で歌舞伎を視聴できたことやスライドの写真をしながら詳しい説明を聞いた。 | 動画を視聴してもらう際、機器側の問題で必要な場面に頭出しが出来ない。そのロスタイムを減少させたいと思う。            | 評価された点ではあるが、TAを雇用する等して、さらに改善を図りたいと思う。                                        | 授業展開で緊張感を続けさせるべき時はその方法にも注意することが必要かと思われる。                                                                                                              |    |
| 科目名：社会の認識 |                                                  |                                                                 |                                                                              |                                                                                                                                                       |    |
| 1         | 自由意見<br>いきなり試験は厳しいので、毎回課題を出してほしい                 | 最終試験は易しいものにしたが、こまめな課題があったほうがよかった                                | 次年度は毎回課題を課すことにした                                                             | ELMSを使う                                                                                                                                               |    |
| 2         | 自由意見<br>毎回、各学生が挙げる疑問点について回答がなされていたので、理解が深まった。    | 事前に学生から疑問点を挙げさせ、授業ではその一つ一つについて解説つきで回答した点                        | 疑問点が多く時間切れになってしまうことも多かったため、今後は回答する疑問点を絞る予定。                                  | 事前に学生に疑問を提出させ、授業でそれに回答することは、学生の理解の深化につながる。                                                                                                            |    |
| 3         | 自由意見<br>zoomを用いた授業をもっとしたかった                      | 資料配信によるオンデマンド型の授業で、zoomによるオンライン授業の回が少なかった                       | オンデマンド型の場合、オンライン授業を増やす予定                                                     |                                                                                                                                                       |    |
| 4         | 設問 1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。               | コロナ禍での対面授業であったので、学生が何を必要としているのかが当初は把握できなかった。                    | ある程度予想はしていたが、学生間の交流を強く望んでいたため、出来るだけ学生相互が話し、交流できるようにした結果、シラバスを大幅に変更する事になった。   | 学生や非常に優秀で意欲的であったので、可能な限り学生の意向に沿う形を試行錯誤した。コロナ禍の経験を一過性の災厄として終わらせるのではなく、今後に生かせるように自ら記録し考え、他の学生の経験や考えを参考にしながら、深めていけるように工夫した。また個人の体験を普遍化し、歴史の中に位置づける試みとした。 |    |
| 5         | 設問 2 授業はシラバスにそって行われていた。                          | 同上                                                              | 学生が何を望んでいるかを把握することができたので、令和4年度のシラバスは、そのことを反映させたものとなった。                       |                                                                                                                                                       |    |
| 6         | 設問10 黒板、教科書、プリントやAV機器などの使われ方が効果的であった。            | オンラインでは、ネット環境がよくなかったため、最初は上手く接続できなかった。ハイブリッドは初めてのことで、手間取る面があった。 | 機器の操作には慣れたので、今後は改善できる見込みである。                                                 |                                                                                                                                                       |    |
| 7         | 自由意見<br>授業で扱ったスライドを共有してほしいとの要望があった。              | 自由意見でスライドの共有があったが、肖像権などの問題があり、今後精査して提示したい。                      |                                                                              |                                                                                                                                                       |    |
| 8         | 設問 7<br>話し方は聞き取りやすかった。                           | なるべく明瞭な発音で、声を張ることを意識した。<br>説明が単調であった。                           | 講義資料の充実と実務を経験してきた中での印象的なエピソードを述べる。                                           | 講義資料だけではなく、教員自身の経験談、それが結びつく知見や理論について伝える。                                                                                                              |    |
| 9         | 自由意見<br>グループワークを実施し、他の学生との交流の機会を持つことができた。        | 他の学生の様子が見えない中で、学生同士で意見交換することができた。グループワークのバリエーションについてさらに検討したい。   | 引き続き、グループワークの実施を検討している。前回は他者との交流に重きを置いたが、次回は自分自身を振り返るという点にもフォーカスした内容を盛り込みたい。 | 学生がお互いに意見を交わし、話し合うことが大きな刺激や学習意欲の向上につながると感じた。                                                                                                          |    |

| NO | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                                           | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                               | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                 | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                  | 備 考 |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 10 | 自由意見<br>・非常にわかりやすく丁寧に説明してくれた。                                                                     | オンデマンドの場合は、予め詳細なレジュメをmoodleにアップして、繰り返し復習できるようにした点。また、同時配信の場合は、図表等を示しつつ、学生に随時質問し、理解度を確認しながら進化した点 | 令和4年度も対面式が困難な場合は、同様の方法で進める予定。                                        | レジュメ・資料等は、必ず授業の前に確認できるようにmoodle等にアップしておくことが有益である。                                         |     |
| 11 | 自由意見<br>出来れば対面でやりたかった。                                                                            | 本来は対面式を予定した授業なので、事情が許せば対面式で実施する。                                                                | 令和4年度も対面式が困難な場合は、オンデマンドと同時配信を併用する。                                   | 対面式でなく、かつオムニバス型の授業の場合は、オンデマンドのみにせず、適宜、同時配信の授業も織り込んでいくことが有益であると感じる。                        |     |
| 12 | 設問9 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した                                                                          | オンデマンド授業であったことも影響しているが、授業時間内で十分なフォローができない分、Moodleでの関連資料の配布や翌週の授業での補足説明を充実させることが必要であった。          | 次年度は、これまで以上に学生の質問や疑問に丁寧に対応したい。                                       | 学生との対話の時間を充実させることで、学生の理解度が高まり、結果として、受講意欲や積極性が向上するといえる。                                    |     |
| 13 | 設問13 この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は平均（ ）であった                                                        | 5段階評価の平均値をみると、予習や復習を促すための配慮が必要と感じた。                                                             | 次年度は、定期的に宿題を出して、講義内容の振り返りや発展的な内容もしくはそこから派生したテーマについても関心を持ってもらうよう努めたい。 | 授業内容の定着には復習は重要であり、また、予習によって次の授業で学ぶ内容への関心や学習の動機づけの効果を高めることが可能になる。                          |     |
| 14 | 自由意見<br>【良かったと思う点】において、スライド写真などの使用が効果的であったこと、丁寧な授業資料や個別具体的な事例を用いた説明が実感しやすく、学びを深めることに繋がったという評価を得た。 | コロナ禍の中、試行錯誤しながらも、詳しい説明やオリジナル資料の作成、図表や写真の活用を心掛けていたことが評価されたと感じている。                                | 次年度も理解度・満足度の高い授業を行うことができるよう講義資料の準備や丁寧な解説を心掛けたい。                      | 講義資料のアップデートは大変ではあるが、日々刻々と変化する社会や地域事象を理解するためには、その都度、講義内容や説明に使用する資料やデータを吟味し、整理しておくことが肝要である。 |     |

科目名：科学・技術の世界

|   |                                                                                                            |                                                               |                                                |                                                                      |  |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--|
| 1 | 自由意見<br>改善した方がよいと思う点<br>月曜日の授業で（レポート・小テスト）の提出が金曜日というのがすこしやりにくいと感じました。                                      | 課題の提出について、提出期限を開講日の曜日に合わせる点                                   | 課題提出を開講日の曜日に合わせた                               | 特になし。                                                                |  |
| 2 | 自由意見<br>改善した方がよいと思う点<br>各授業のzoom配信のアーカイブを残しておくと思いしました。資料に書かれた以外の話題もあるので赤線の書き込みを加えた状態の資料の公開を別に行うとよいと思いしました。 | 各授業のzoom配信のアーカイブを残しておく点                                       | 各回の授業のアーカイブ（授業を録画した動画）を公開した                    | 特になし。                                                                |  |
| 3 | 設問6 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した                                                                      | この設問の評点平均値が他の全学教育科目と比較して低い。                                   | 授業中の演習において学生同士で話し合う時間を設けたいと考えている。              |                                                                      |  |
| 4 | 設問11 この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。<br><br>自由意見<br>多様な授業の受け方に対応しており、その時の都合に合わせて受講できた点（他にも類似の意見が複数見られた）            | 講義が主体でなおかつ1限に実施された授業であったが、対面・Zoom・オンデマンドでの受講を可としたところ出席率が高かった。 | 授業内容のうち基礎知識を解説する部分については今後もオンデマンド受講ができるようにしていく。 | 教育効果そのものは明確ではないものの、講義内容を録画してオンデマンドで受講できるようにすることは、学生の受講率向上に繋がるとと思われる。 |  |
| 5 | 自由意見<br>授業前にスライドが公開されていた方がよいと感じました                                                                         | 授業スライドの公開は毎回授業終了後になっていた。                                      | 授業の進行に差しさわりの無い範囲でスライド資料を早めに公開したいと考えている。        |                                                                      |  |

【外国語科目】

| NO            | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                           | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                         | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                                                                                                        | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                             | 備 考 |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 科目名：英語 I      |                                                                                   |                                                                           |                                                                                                                                                                                             |                                                                                      |     |
| 1             | 自由意見<br>オンデマンド形式のため、自分のペースで学習できた                                                  | 無理なく学習できる教材構成、教材量、スケジュールにしたこと                                             | 令和4年度は対面授業が基本なので、毎回の授業を録画して、いつでも学習できるようにした                                                                                                                                                  | 授業に出られない学生がいることを前提とした授業計画しておくのがよいかもしれない                                              |     |
| 2             | 自由意見<br>毎週フィードバックに質問を書くのだが、あまり質問したい事項がないと感じる授業内容の時があった。                           | より高度な内容を求めている学生には教材が難易度の点で物足りなかったかもしれない                                   | 基礎ばかりでなく、より発展的な内容を盛り込むことができないか、検討したい                                                                                                                                                        |                                                                                      |     |
| 3             | 設問 8<br>教員は学生の質問・発言等に適切に対応した                                                      | どのような質問や意見でも否定せずに、できるだけ学生の目線で話をするのを心掛けた                                   | 他の学生の前で間違えることを恐れる学生が多いため、難解なテキストであり、分からない部分が多くて当たり前であることを強調した                                                                                                                               | 自分も分からないふりをする、学生の意見をうまく引き出せる場合もある                                                    |     |
| 4             | 自由意見<br>1冊の英語の本を読み切ることができた・他の人の発表を聴いてプレゼン能力が伸び、視点を広げられる                           | 毎回学生の発表を主体に授業を進めた。教員は、学生が分からなかった箇所のサポート                                   | 毎回確実に読書を進められるように課題を課し、できるだけフィードバックに努めた。発表者以外も意見を話せるよう、少数の班に分けて自由なディスカッションの時間も設けたい                                                                                                           | 毎回のレポートは、教員の側も確認が大変だが、学生の理解度を知る上で非常に大切。また、添削を返すことで、やる気にもつながるようである                    |     |
| 5             | 自由意見<br>時間が押して発表を急かされることで、クオリティが維持できなかった人もいたのではないかと。ストップウォッチなどで区切りながら発表をさせるとよいと思う | 発表の分量が多く、またテキストの読み間違いも多いため、補足説明に時間を取られてしまうことが多々あった                        | タイマー設定をして、何分か毎に区切って発表させるというのは、発表に慣れさせる上でもよいアイデアであり、試してみようと考えている                                                                                                                             | 学生発表が主体の授業では、タイマーを使って90分を意識的に何セッションかに分けると、メリハリを付けながら進められるのではないかと                     |     |
| 科目名：ドイツ語 I・II |                                                                                   |                                                                           |                                                                                                                                                                                             |                                                                                      |     |
| 1             | 自由意見<br>当てられても答えられない人がいたので、まじめに宿題をこなしてきた人が報われないと思った。                              | このような意見は予想していなかった。宿題をしたかどうかは成績評価の対象としないことを徹底して伝えるべきだった。個々の学生の意欲に影響を与えるので。 | 授業の方針は最初に一度話すだけでなく、学期中繰り返し伝える。                                                                                                                                                              | 他の教員の参考になるかどうかはわからないが、教員の認識が受講者にきちんと伝わっていない可能性があることには注意すべきかもしれない。                    |     |
| 2             | 自由意見<br>難しいとのことだったが、ポートフォリオの採点結果は公開してほしかった。コメントなどはいらないので、どこが間違っていたかだけでも教えてほしかった。  | まったく投稿者の言う通り。成績判断の基準と結果はできるだけ公開するべき。                                      | この「ポートフォリオ」は、授業で学んだ文法や例文をもとにして学生が独自に新たな文を書いたり教員が授業中に話したエピソードなどを記入させ、授業に取り組む姿勢の積極性を評価する材料とした。投稿者の言う通りなので、まもなく得点だけは公開した。しかしどこを間違えたかを知らせるためには莫大な時間と労力を要するので、あえてしなかった。今後オンライン授業が復活した場合は要検討となろう。 | 単に出欠をとるのではなく学習の成果を記入させる形式なので、それなりに意義はある。しかし学生の知る権利に十分こたえていないという批判は正しい。今後はやめるべきであろう。  |     |
| 科目名：中国語 I・II  |                                                                                   |                                                                           |                                                                                                                                                                                             |                                                                                      |     |
| 1             | 自由意見<br>オンラインでも聴く、喋る時間がとられたこと。                                                    | オンラインにおける双方向性                                                             | 中国語は発音が肝心、オンラインでも学生に喋らせることを心掛けた。                                                                                                                                                            | オンラインは単調になりがちなので、内容をあまり盛り込み過ぎず、極力発言の機会をつくった。但し、その時間は、他の学生にとってはやや単調になってしまうのでその扱いが難しい。 |     |
| 2             | 自由意見<br>適宜生徒へ質問を投げかけていた点                                                          | オンラインにおける双方向性                                                             | コロナ禍も二年目で、学生の主体性を引き出すことを心掛けた。                                                                                                                                                               | 同上                                                                                   |     |



【外国語演習】

| NO          | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                   | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                          | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                             | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                                                                  | 備考 |
|-------------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 科目名：英語技能別演習 |                                                           |                                                            |                                                                  |                                                                                                                                                           |    |
| 1           | 自由意見<br>学生間、学生-教員間の英語によるディスカッションがあるとよい                    | オンデマンド授業にはディスカッションがなじまないのだが、それが物足りなさにつながったのだろう             | 令和4年度からの対面授業でディスカッションの要素をどのように取り込めるか、検討したい                       |                                                                                                                                                           |    |
| 2           | 自由意見<br>オンデマンドのため、勉強しやすかった                                | 学習内容について、詳細に解説したビデオを事前にELMSにアップしておいた点                      |                                                                  |                                                                                                                                                           |    |
| 3           | 自由意見<br>勉強しやすい流れだったのと、フィードバックもあったのでとても良かった                | 質問など学生からの連絡があった場合は、迅速に対応し、クラス全体にもELMSを使って共有した点             |                                                                  |                                                                                                                                                           |    |
| 科目名：英語演習    |                                                           |                                                            |                                                                  |                                                                                                                                                           |    |
| 1           | 自由意見<br>学術的な理解を深められ、解説もわかりやすかった。                          | 複数教員による異なる専門知識をはば広く提供できた評価であると思われる。                        | 教科書のコンテンツをホットな話題と関連付けて解説しているが、今後もこの点での工夫は継続していきたい。               | 身近な現象を取り上げること、履修生の効果的な習熟が望める。                                                                                                                             |    |
| 2           | 自由意見<br>担当文章難易度に優劣がある。                                    | 複数パート、あるいはパラグラフ単位で担当文章を割り当てるような配慮は今後必要である。                 | 授業内容全般における履修生全体の理解度を把握することは難しいため、毎授業内容の理解度を把握するための小テストを実施している。   |                                                                                                                                                           |    |
| 3           | 自由意見<br>予習していない生徒により、授業効率や質が低下する。                         | 毎度は難しいかもしれないが、学生が自主的に課題に取り組めるような予習内容への見直しが必要である。           | 数人単位によるディスカッション時間を設け、グループ発表等による協調、自主的関与を促す機会を計画している。             | 動画の視聴は、履修生全体の興味を喚起する上で、効果的な手段であると思われる。                                                                                                                    |    |
| 4           | 特段なし                                                      | 履修者が4、5名なので、インテンシブにやれる                                     | 一回あたり、1人5、6回の発言する機会があるので教育効果は十分だろう。                              | 一時間、フルに英語だけを使って時事ニュースを読み、テキストを読みながら、ディスカッションしているが、英語科教員や英語を主専攻としない学生でもやればできるものだし、学生も慣れてくるので、少人数の授業を増やして、学生の実質的な英語力を高める工夫をしたらよいのではないか。羊頭肉のグローバル教育などより役にたつ。 |    |
| 5           | 設問 2<br>授業はシラバスにそって行われていた                                 | 進捗の想定が十分でなかったため、扱う内容が想定より縮小した                              | 事前に進捗の想定を十分に行う                                                   |                                                                                                                                                           |    |
| 6           | 設問 6<br>教員の熱意が伝わってきた                                      | 熱意を伝える工夫に欠けた                                               | 扱うテーマに関する自らのモチベーションを伝えることを心がける                                   |                                                                                                                                                           |    |
| 7           | 自由意見<br>学術的な英文に慣れることができ、内容に関しても知識を深めることができた               | 専門用語を丁寧に解説した点                                              | 専門用語や述べられている内容に関して、より丁寧に解説することを心がける                              |                                                                                                                                                           |    |
| 8           | 設問 8<br>教員は効果的に学生の参加を促した                                  | 英語文献を使った輪読や、英語でのプレゼンテーションを授業に盛り込んだ点                        | 今後も学生のレベルや興味に応じた適切な英語文献を用意する。また、プレゼンテーションのテーマは学生に関心のあるテーマを考えさせる。 | プレゼンテーションのテーマには、学生の出身地を反映したものや、総合教育部の場合は希望進学先に関連したものを考えさせると良い。                                                                                            |    |
| 9           | 設問 2<br>授業はシラバスにそって行われていた                                 | 学生が自身で発表をする際に質疑応答が長くなり、結果として当初のスケジュールより2、3倍の時間を発表の回に費やした点。 | 発表時間と質疑応答時間を明記し、タイマーを全体向けに表示することで時間への意識を持たせる。                    | 意欲的な学生が多い場合、質疑応答が盛り上がってしまうことがあるが、学生の意欲をそがないために質疑応答を継続すると、スケジュール通りに進まない可能性がある。                                                                             |    |
| 10          | 自由意見<br>同じ講義を受けている学生からもいい刺激を受けることができた。新しい見方・考え方を学ぶことができた。 | シラバスの記載により、英語の得手不得手や専門分野に関わらず幅広い学生を受け入れる点を明記しておいた点。        | 今後も、英語が苦手な人や自身の専門と異なる学生が思い切って履修してみたいと思えるような魅力的なシラバス作りに努める。       | 科目の内容によるが、総合系・総合文系という北大の仕組みを活かし学生に多様性のある授業を展開することは、学生にとっても刺激的で良いようだ。                                                                                      |    |

| N0 | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                   | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                         | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                      | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                     | 備 考 |
|----|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-----|
| 11 | 自由意見<br>1人1人にかかる時間を短くすると輪読がもう少し進んだと思う                                     | 一部学生の音読や翻訳のスピードに合わせすぎたため、輪読中心の回がシラバスの予定より長引いてしまった点。       | 輪読の担当箇所を予め決めておくなど、予習しやすい状況を作る。                                            | 演習問題や輪読などでは、学生ごとに担当を決めておく授業は円滑に進むが、担当しない部分の予習がおろそかになる可能性がある。 |     |
| 12 | 設問3<br>授業で要求される作業量                                                        | 評価が5（そう思う）から2（そう思わない）まで大きく分かれた点は、グループ活動と、各自の勉強量に関係すると思われる | 提案した課題の内容についても、それぞれの作業量が異なる可能性があり、改善が必要かもしれない。                            | グループ活動が中心の場合、作業内容によっては、各生徒の負担の増減がある可能性がある。常にその点に注意が必要。       |     |
| 13 | 自由意見<br>教授のフィードバックがあること                                                   | 学生から提出されたレポートについて、なるべく全部を掲示し評価したこと                        | グループ発表を中心に行ってきたので、今後ともなるべく全部の発表についてコメントを付す予定。                             | 学生の発表内容について、コメントを与えることで、修正進展が期待できる。                          |     |
| 14 | 自由意見<br>解説がわかりやすい                                                         | どんなに英語が苦手な人でも理解できるように、基礎に立ち返って丁寧に解説をするよう心がけた              | そこしか取り柄のない授業なので、さらによりわかりやすく面白い解説を工夫したい                                    |                                                              |     |
| 15 | 自由意見<br>The topics covered in this course are indeed very interesting.    | オムニバス形式の講義なので、担当教員の研究テーマが被らないようにした。                       | 引き続き幅広いテーマで講義を提供する。                                                       | 特になし                                                         |     |
| 16 | 自由意見<br>Communication between instructors and students could be improved. | オンデマンドの講義も多かったもので、対面の講義よりは学生とのやり取りは減った可能性がある。             | 海外から参加する学生も多く、時差を考えるとオンデマンド講義も必要である。何回かに一回は同時配信型にすることで、学生とのやり取りを増やす必要がある。 | 左に同じ                                                         |     |

科目名：中国語演習

|   |                                         |                                                        |                                                     |                                  |  |
|---|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------|--|
| 1 | 自由意見<br>紙の辞書を使って自分で調べる楽しさを知ることができた。     | 予習には辞書の活用が必須であることを強調し、授業中にも随時いっしょに辞書を用いて理解を深めるようにしたこと。 | 辞書を引くことの必要性をシラバスに明記し、講義初回で紙媒体・電子媒体を含めて複数の辞書を紹介している。 | 語学ごとにおすすめの辞書情報を共有することは有益であると感ずる。 |  |
| 2 | 自由意見<br>少人数で会話が早い授業の雰囲気があって毎回楽しく授業に臨めた。 | 使う場面を具体的に想定しつつ、少人数クラスの醍醐味を生かした語学学習を実践しようとしたこと。         | 受講者の学習歴をふまえて、修得した語学力を活用する機会や展望を広げるような情報を提供している。     |                                  |  |
| 3 | 自由意見<br>必修の中国語Ⅱの教科書を使っているので日頃の学習に役立った。  | 必修の中国語と連動し、発音に特化した授業展開をした。                             | 中国は発音が難関なので、中国語Ⅱの授業の教科書を使って、発音強化を行った。               |                                  |  |
| 4 | 自由意見<br>中国語のネイティブのTAがついているのでわかりやすかった。   | TAの活用                                                  | TAのやる気を引き出し、ネイティブの発音に多く触れてもらうようにした。                 |                                  |  |

科目名：外国語特別演習

|   |                                    |               |                                            |      |  |
|---|------------------------------------|---------------|--------------------------------------------|------|--|
| 1 | 自由意見<br>チャットに単語を書く時、日本語訳も一緒にしてほしい。 | チャットを黒板代わりに使用 | その場で口頭では日本語の意味を説明していますが、さらに日本語訳もつけようと思います。 | 特になし |  |
|---|------------------------------------|---------------|--------------------------------------------|------|--|

## 【共通科目】

| NO       | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                          | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                             | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                       | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                           | 備考 |
|----------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----|
| 科目名：体育学B |                                                                  |                                                                               |                                                            |                                                                    |    |
| 1        | 設問8<br>教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した                           | 講義科目ではあったが、他の学生の意見に触れる仕組みと機会を多く設定した点                                          | グループワークによる意見交換、フォーラムでの意見共有を取り入れた                           | 学生が授業に積極的に参加するには、一つの授業内に複数の参加の仕組み設定すること                            |    |
| 2        | 設問4<br>授業内容の難易度は適切であった                                           | 実生活に関わる題材を取り入れた点                                                              | 今後は、将来の生活に関わる題材を取り入れる予定                                    | 思考実験を取り入れると有益であると感じる                                               |    |
| 科目名：情報学I |                                                                  |                                                                               |                                                            |                                                                    |    |
| 1        | 自由意見<br>授業の履修前のプログラミングに関する知識の有無によって演習の達成度が異なるのは不適切               | 当該授業内容実施のかなり前に参考資料を配付して、意欲のある学生にはどのような知識が必要かを事前に理解させ、学習する機会を与えるようにするとよいと思われる。 | 情報学Iは、複数教員で同一内容の授業を実施するため、教員間の情報共有と担当者の引き継ぎ事項として、改善点の項目に追加 | 情報学IIは、複数教員で同一内容の授業を実施するため、特に取り纏め教員に各教員の改善点の情報が伝達されるようにするとよい       |    |
| 2        | 自由意見<br>Python演習、特に、第13週以降の内容とそれ以前の内容にギャップがあり、内容にスムーズな連携が取れていない。 | 内容がスムーズに連結するように、ギャップと思われる内容を補足する資料等を追加して、授業中にも資料を参照するように学生に指示するとよいと思われる。      | 同上                                                         | 同上                                                                 |    |
| 3        | 自由意見<br>課題の分量が多い                                                 | 理解度を高めようとした。                                                                  | 課題の分量の調整                                                   | 講義ですでに課題の量は決定しているので教員間での調整が必要である。                                  |    |
| 4        | 自由意見<br>TAが丁寧に教えてくれるが、留学生だと理解が難しい                                | 理解度を高めようとした。                                                                  | TAの調整                                                      | TAの募集は一括して行われているため調整が必要である。また、留学生でも日本語の理解が難しい場合もあるので事前にチェックが必要である。 |    |
| 5        | 自由意見<br>授業実施方法について                                               | オンデマンドによる開講であった点                                                              | 対面による実施に変更                                                 |                                                                    |    |
| 科目名：統計学  |                                                                  |                                                                               |                                                            |                                                                    |    |
| 1        | 自由意見<br>日常的な具体例が多くわかりやすかった。                                      | 近年「統計」は身近になっているので例を出しやすい。                                                     | より講義内容の理解の助けとなる例を考えます。                                     |                                                                    |    |
| 2        | 自由意見<br>解説をわかりやすくしてほしい。説明がわからない。                                 | わかりやすさに賛否あるので、その違いがどこにあるのかを分析して改善につなげる。                                       | わかりにくいという意見者に具体的に聞いてみる、                                    |                                                                    |    |
| 3        | 自由意見<br>教科書であとで復習できるようにしてほしい。課題が難しい。                             | 教科書の対応箇所をもう少し明確に伝えるようにします。課題は大学生らしく自分で色々考えられるよう多少曖昧にしています。                    |                                                            |                                                                    |    |

【文系基礎科目】

| NO             | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                                                                                                                   | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                                                                                         | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                        | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                                                                                                            | 備考 |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 科目名：人文・社会科学の基礎 |                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                           |                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                     |    |
| 1              | 自由意見<br>ディスカッションが多く多様な意見が聞けたこと（多数）                                                                                                                                        | グループディスカッションで他人の意見を聞きながら自分の考えを深めることができたなど、ほとんどの学生がグループディスカッションを高く評価した。                                                                                    | グループ・ディスカッションは今後もこの授業の中心として続ける。                                                                             | グループディスカッションは、オンラインでも対面でも、やはり教育効果が高い                                                                                                                                                                |    |
| 2              | 自由意見<br>ディスカッションの時間をもっと多くしてほしい                                                                                                                                            | グループディスカッションを高く評価するあまり、その時間がもっとほしいという要望が一部にある。                                                                                                            | 一部の回のときに少し長めにディスカッションの時間をとることも検討したい                                                                         | グループディスカッションの時間は状況に応じて長短をきめるのがよいだろう。                                                                                                                                                                |    |
| 3              | 自由意見<br>良い点と思われる点を列挙する<br>①教育学入門として価値があったこと。<br>②グループワークや教員との質疑応答の機会が多く、理解を深めることができたこと。<br>③主張がはっきりし、熱意があったこと。<br><br>悪い点と思われる点を列挙する<br>①最終レポートの課題の提示が遅いこと。<br>②難易度が高いこと。 | 良かったのは、「コロナ禍」においても学生同士がコミュニケーションする場面を多く創ったこと。学生が本来の力を発揮してくれると、講義は自ずと活力をもつから。<br>改善した方がよいと思われるのは、最終レポートの課題の提示を早めること。最初に指し示していたのだが、学生の想定より時間のかかるレポートだったようだ。 | 既に実施しているのは、学生間のコミュニケーションを活発にするための多様なチャレンジをすること、コメントペーパーへのレスポンスを丁寧に行うこと、である。<br>今年度講義では、最終レポートの課題の提示時期を早めたい。 | とにかく学生と教員、学生間のコミュニケーションを活発にすること。そのためには、努力が必要である。<br>また、中等教育での受動的な「勉強」を高等教育での能動的な「学習」に替えるための授業（制度）改善が必要である。2単位の細切れのコンビニエンスストアのような授業ではなく、講義2単位＋講義をテーマとした演習2単位から構成される4単位もの講義＝演習が、学期にひとつぐらい受講できると良いと思う。 |    |
| 4              | 設問5 教員の説明はわかりやすかった。                                                                                                                                                       | 専門用語は平易な言葉で説明を加え、また、なるべく具体例を提示して説明しようとした点等が評価されたように思われる。                                                                                                  | 平易な説明を心がける。                                                                                                 | 専門用語を平易に説明する。                                                                                                                                                                                       |    |
| 5              | 設問8 教員は効果的に学生の参加を促した。                                                                                                                                                     | 小集団討議、授業の感想の提出等が評価されたように思う。                                                                                                                               | このような方法を継続する。                                                                                               | 学生間で話し合える機会をつくる。                                                                                                                                                                                    |    |
| 6              | 自由意見 実際に現場で働いている人の話が聞けて興味深かった。                                                                                                                                            | 理論的な面のみでなく、実際面を現場の専門家から話してもらった点。                                                                                                                          | このような方法を継続する。                                                                                               | 実践科目の場合、現場の声を聞いてもらう。                                                                                                                                                                                |    |
| 7              | 自由意見<br>様々なゲスト講師の講義が充実していた                                                                                                                                                | 経済・金融に関係する実務家がゲスト講師として複数回参加したこと。                                                                                                                          | 引き続き、ゲスト講師による講義を取り入れていく。                                                                                    | 担当教員の講義だけでなく、特定の分野の実務家をゲスト講師として招聘することも、学生にとって考え方や視点が広がり有意義である。                                                                                                                                      |    |
| 8              | 自由意見<br>もう少し学生側からアクションを起こせるような形にするとよい                                                                                                                                     | 学生にとって聴く時間が多くなり、アウトプットの機会が少なかった。                                                                                                                          | 学生からのチャットでの質問に答える形にしていたが、それに加えて、グループワークを取り入れる、理解の確認として小テストを行う、等を検討する。                                       | 大人数の講義であっても、個々の学生が何らかの形でアウトプットを行う機会を充実させることが望ましい。                                                                                                                                                   |    |

【理系基礎科目】

| NO                   | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                               | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                   | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                      | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                        | 備 考 |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----|
| 科目名：入門線形代数学・線形代数学Ⅰ・Ⅱ |                                                                       |                                                     |                                                                                           |                                                                 |     |
| 1                    | 設問8<br>教員は効果的に学生の参加(発言、自主的学習、作業など)を促した。                               | オンライン中心の授業だったため、Moodleの掲示板機能を利用して、学生の意見交換の機会を確保した点  | 令和4年度から対面授業に移行したため、Moodleの掲示板機能は利用していないが、今後はアンケート機能を利用して、予習時の各自の理解度を知らせてもらい、授業内容に反映させる予定。 | 掲示板への書き込みにより、他の学生と授業内容の理解度を比較することができ、よいのではないかなと思う。              |     |
| 2                    | 自由意見<br>授業動画の音声が一部聞き取りにくいときがあった。                                      | 授業動画の音声が小さく、聞き取りにくいことがあった点。                         | 授業動画を作成する際には、音量に気をつける。作成後には動画を再生するなどして、音量などをよく確認するようにしている。                                | 授業動画の作成にあたっては、音声などによく注意を払うこと。                                   |     |
| 3                    | 自由意見<br>課題の難易度が適切であった                                                 | 履修学生によって難易度の感じ方が異なると思うが、多くの学生に対して適切な課題を選ぶよう努力している   | 課題の問題を精選して授業内容の理解を促す問題に引き続き改良していきたい。                                                      | 自習学習のWebworkも活用して、多面的な理解を促している。                                 |     |
| 4                    | 自由意見<br>線形代数学を全く知らない人に対してとてもわかりやすい説明がされていて、学習意欲もわいた。                  | 線形代数学は大学1年で初めて学ぶ学生がほとんどなので、それを意識して、導入部分に注意して説明している。 | 対面授業とmoodleを使ったオンライン(オンデマンド)の方法を併用して、学生がつまずく点を極力解消するように努めている。                             | 授業では例題の解説を行い、その類題を演習課題として、moodle上で提出してもらって評価している。               |     |
| 5                    | 自由意見<br>教科書も含めて授業がとても分かりやすかった。具体例を多く扱っていて理解しやすかった。                    | 具体例を適宜利用した点                                         | 時間の許す範囲で、具体例に則して説明するよう心がけている。                                                             | 証明を行う際には、まず $n=3, 4$ などで証明してから一般の $n$ で証明するよう工夫すると、学生は理解しやすいうた。 |     |
| 6                    | 自由意見<br>オンデマンド授業だったので授業動画を途中で止めて少し前の内容について復習をしてから戻るようなこともできたのがよかった。   | 授業動画を用意した点                                          | 令和4年度は、作成した授業動画を利用して、反転授業を行なった。                                                           | 授業動画を用意するのは大変だが、学生の理解度の向上には有効のようだ。                              |     |
| 7                    | 自由意見<br>手書きではない資料がとても見やすかった。                                          | 手書きではなくLaTeXでオンデマンド資料を作成した点。                        | 今後もLaTeXで資料を作成する。                                                                         | 手書きでない講義資料の方が評価が高いようだ。                                          |     |
| 8                    | 自由意見<br>もう少し具体例が欲しい。                                                  | 具体例を紹介しなかったわけではないが、より多いことを望まれている。                   | 講義で扱う具体例を増やす。                                                                             | 具体例が多い方が評価が高いようだ。                                               |     |
| 9                    | 自由意見<br>数学が得意な人もそうでない人も理解できるように取り扱う内容を専門的になりすぎないようにしているのがよかった         | 線型代数の諸概念について、背景にある考え方を重点的に説明した。                     | 線型代数が諸科学でどのように使われているかについて、情報収集に努めて、なるべく紹介していきたい。                                          |                                                                 |     |
| 10                   | 自由意見<br>演習問題で解答をもっと丁寧にしてほしいという声が多かった。                                 | 自分でじっくり考えてもらうために意図的に省略した問題もある。                      | あまり懇切丁寧に解説すると、自ら考える力が育たないというデメリットが出ることを危惧しているので、適切なバランスについて、検討していきたい。                     |                                                                 |     |
| 11                   | 自由意見<br>感染状況を考慮してのことではあるが、実際に教室で顔を合わせて疑問点を共有できる時間が増えたとより良いのではないかと感じる。 | 授業実施形態について、オンライン授業が中心で対面授業をあまり実施しなかった点              | 令和4年度1学期からは、オンライン授業ではなく、対面授業を実施している。                                                      | 新型コロナウイルスの感染状況が変化した際に素早くオンライン授業へ移行できるよう留意の上、対面授業を実施するとよい。       |     |
| 12                   | 自由意見<br>毎回課題が出たので問題演習で理解を深められた。                                       | 毎回の授業で問題演習に取り組んだ点。                                  | 今後は、令和3年度の授業動画を利用するなどして、問題演習の時間をより多く確保する予定。                                               | 問題演習に取り組む時間を作るよう工夫すること。                                         |     |
| 科目名：入門微分積分学・微分積分学Ⅰ・Ⅱ |                                                                       |                                                     |                                                                                           |                                                                 |     |
| 1                    | 自由意見<br>提出した課題に対してフィードバックが迅速に行われていた点。                                 | やさしい問題を課題として出し、点数とコメントのフィードバックを行った。                 | 対面授業であっても、課題とそのフィードバックは続けたい。                                                              |                                                                 |     |
| 2                    | 自由意見<br>可能であれば、対面授業があればいいなと思いました。対面での質問会をするべきだと思う。                    | オンデマンド型のオンライン授業を行い、期末試験を対面で行った。                     | 対面でできない場合でも、オンラインの質問会は企画するようになりたい。                                                        |                                                                 |     |

| NO | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                       | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                                                                                                                       | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                               | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                           | 備 考 |
|----|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----|
| 3  | 自由意見<br>自習問題の解説など授業本編以外にも動画を上げていたのはありがたかったです。 | オンデマンド型の授業に対する試行が良かった点と理解できる。                                                                                                                                                           | 対面でも参考資料として動画の掲載を継続したい。                                                            | 他の教員にも参考になると考えます。                                                  |     |
| 4  | 設問 5<br>教員の説明はわかりやすかった。                       | オンデマンド型講義スライドに、図や例、直観的説明を多めに記載した点。                                                                                                                                                      | 対面講義でも、実際に図を動かすなどして、視覚的効果で理解を深めてもらう。                                               | 対面の板書講義では口頭の説明で済ませていたようなことも、スライドの講義では、分量が許す限り、スライド内に書いてあげると良いと感じる。 |     |
| 5  | 自由意見<br>1つの動画にするより、いくつかに分けられていた方が、復習しやすい。     | 1つの動画(オンデマンド型講義スライドの解説動画)が、長くなってしまっていた点。                                                                                                                                                | 1回の講義でも、話題が変わるところで動画を分け、動画1つあたりの長さを短くする。                                           | 動画1つあたり10～20分ぐらいの長さが良いように感じる。また分割した各動画の内容も、視聴前に簡単に分かるようにする。        |     |
| 6  | 設問 10<br>黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった       | 2つのクラスを担当したが、スクリーンのせいで使える黒板の面積が十分大きい教室かどうかで評価が分かれた。小さい教室の方では、板書が見え難かったらしい。また、プロジェクターのオン・オフに時間が掛かるため、オンにしたまま板書してしまったが、そのせいで黄色いチョークが見え難かったようだ。板書の際は面倒がらずに、スクリーンを上げたり、プロジェクターをオフにしてみようと思う。 | 板書の際、いちいちスクリーンを上げるよう心掛けている。プロジェクターのオン・オフには未だ時間が掛かるため、オンにしたまま板書してしまっている。今後は改善してみたい。 |                                                                    |     |

科目名：物理学Ⅰ・Ⅱ

|   |                                                  |                                                                               |                                                   |                                                           |  |
|---|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--|
| 1 | 自由意見<br>物理学だけでなく、教科書からは得られない将来を考えるための話を聞くことが出来た。 | 他の授業では、科目に関連する話しかされていないのであろう。高校や大学の教育の欠点は知らせるべき。                              | 例年、同様な意見があるが、今後も大学教育の問題点や大学の教育で不足する点についての話は行い続ける。 | 大学の授業では得られないこと、それらをどのようにして得るのかを、学生に伝えておく必要があると思われる。       |  |
| 2 | 自由意見<br>オンライン（Zoom）の講義が何度か時間を超過したことへの不満。         | 講義時間内に授業が終了するよう、より注意を払う必要がある。                                                 | 慣れないオンラインでの授業であったが、今年度はかなり配慮した。                   | 特になし。                                                     |  |
| 3 | 自由意見<br>パソコンの能力が成績に影響しかなない内容であったこと。              | 予想以上にパソコンの知識格差が大きく、知識のない学生向けに、かなり配慮しておく必要がある。                                 | パソコンの操作が関わる事項については、レポート課題とし、自らで学んでもらうように変更した。     | 受験科目以外の知識を有しない学生が多いことは、大学の授業だけで十分だと勘違いしている学生が多いことを意味している。 |  |
| 4 | 自由意見<br>テストの過去問を配布したが、解答も欲しいという学生が多かった。          | このような意見は、これまでの教育が育んだのであろう。自ら解答を見出す努力が重要なのだが。                                  | 最初のガイダンスの段階で、この点について、より時間をかけて説明を行うようにする。          | 大学が高校の延長だと考えている学生の思考を変更することに、大学教育はより努力を払うべきではないか。         |  |
| 5 | 自由意見<br>わかりやすく、学習意欲が高まる授業であった。                   | 課題は正答を求めるものではないので、評価は開示していない。                                                 | 課題に関して、何らかのフィードバックをする予定。                          | 課題の内容と難易度は授業内容に合わせると良い。                                   |  |
| 6 | 自由意見<br>丁寧な説明                                    | オンライン講義ということで、できるだけゆっくり何度も繰り返し伝えることを心掛けた                                      | 今年度の対面でもゆっくり繰り返し伝える心がかけている。                       | しつこいと思うほど繰り返し伝えるくらいが集中しきれていない学生にとってはちょうどいいと思います。          |  |
| 7 | 自由意見<br>小テストを講義時間内に解く時間を設け、次の回に解説を行った。           | オンライン講義で一方的な講義となることを避ける工夫として、質問を受け付けながら小テストを実施する時間を設け、次回には必ず解説・解答例を示した。       | 今年度対面講義となっても演習時間を設けている。                           | 小テストの解答時間と解説の時間を設けているので、講義時間が短くなり進度はどうしても遅くなってしまいます。      |  |
| 8 | 設問 8<br>効果的に学生の参加を促した                            | オンライン授業との併用で実施した。対面授業に出席した学生が履修生全体の1/10以下になってしまった。結果、4回目の授業を最後に、対面での実施を取りやめた。 | オンラインと対面の併用は取りやめたい。                               |                                                           |  |
| 9 | 設問 4<br>難易度は適切だった                                | 高校での履修状況によって、内容を決めている。物理学を履修してこなかった学生のレベルに合わせて実施している。                         | 従来と同様に行う。                                         |                                                           |  |

| NO        | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                         | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                                             | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                    | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                   | 備 考                                                                        |
|-----------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 科目名：化学Ⅰ・Ⅱ |                                                 |                                                                                                               |                                                                                         |                                                                            |                                                                            |
| 1         | 設問7<br>教員の話し方は聞き取りやすかった                         | 概ね聞き取りやすかったというのとは逆に、説明は分かりやすかったかという問いに対してはあまり良くなかったようなので、よりわかりやすい説明を心がける必要がある。                                | 受講生の発言、自主学習、作業などを促さなかったため、理解度が挙がらなかったことが「説明は分かりにくかった」ということに繋がっていると思われる。小テストや発言を促すようにする。 | コロナが終息してきたので、受講生の発言を促すなどして、理解度を高めるのが良いと思われます。                              |                                                                            |
| 2         | 自由意見<br>対面になってから理解しやすくなりました。                    | 前半は100%オンラインで講義を行ったため、受講生の表情が見えず、理解度が全く分からないまま講義を進めたが、対面に切り替えた後、受講生の顔やしぐさで理解できたかどうか分かったりやすくなり、うまく説明できるようになった。 | 令和3年度の反省点はオンライン講義だったこと。今後は対面のできるだけ双方向の講義をするように努めたい。                                     | 講義は対面で、双方向型で実施することが受講生の理解度を高めるために重要なことだと思います。                              |                                                                            |
| 3         | 自由意見<br>授業後に小テストを解く時間があつたことで、すぐに頭の整理ができてよかった。   | 講義内で教えたことをすぐに使うことで学生の理解度を高めようとした点                                                                             | 今後も授業最後に小テストを実施する予定。                                                                    | 小テストで学生自身で自分の理解度を確かめられるのは有益であると思います。                                       |                                                                            |
| 4         | 自由意見<br>講義動画・講義資料がアップロードされていたので、分からない点を後日確認出来た。 | 予復習用に講義資料・講義動画の録画を提供したこと。                                                                                     | 別の講義でも、講義資料・講義動画の録画を提供している。                                                             | 講義動画の録画は、復習に役立っている（クラスの1/5程度が視聴した）。                                        |                                                                            |
| 5         | 自由意見<br>物理未履修者向けに、物理の内容を分かりやすく説明しようとする配慮があった。   | 物理未履修者向けに、本科目で扱う高校物理の知識を講義したこと。                                                                               | 多数の物理未履修者の存在を意識し、また授業のフィードバックを毎回集めることで学生の理解度を確認し、ついていけない学生を出さないように心掛けている。               | 理系クラスの物理未履修者は無視出来ないほど多いので、彼らに何かしらの配慮をした方が、内容の理解度は高まると思われる。                 | 物理未履修者向けに、最低限の高校物理の内容を扱う北大公式オンデマンド動画があると良いのでは（講義開始前に視聴するよう案内する）。生物についても同じ。 |
| 6         | 自由意見<br>内容過剰でスピードが速く、授業参加意欲をそがれた。               | 確かにスライド数は多いが、その概要のみを理解して欲しい（深い理解は求めない）、という意図が伝わらず、ついていけない学生を出してしまった。                                          | 講義全体の到達目標を初回に明示した上で、各回の講義で習得して欲しいことをより明確にするようにした。                                       | 基礎科目では多くの内容を薄く広く扱うため、講義の中で学生が覚えるべき点とそうでない点を明確にしないと、内容過剰で学生がついていけなくなる恐れがある。 |                                                                            |
| 7         | 自由意見<br>改善した方が良いと思う点<br>前回の復習が長い                | 前回の復習が長い                                                                                                      | 前回復習を短くした                                                                               |                                                                            |                                                                            |
| 8         | 自由意見<br>質問に対する対応が丁寧だった。                         | 掲示板を利用して質問を受け付け、質問があった時には詳細に説明した点                                                                             |                                                                                         | ライブ配信の講義だったため、掲示板の利用が活発だった可能性がある。                                          |                                                                            |
| 9         | 自由意見<br>小テストや課題の難易度、量が適度であった。                   | 毎回の講義でその日の講義内容に関する小テスト、宿題を課した点。また、その答え合わせを次の講義の最初に行い復習に使用した点。                                                 | 引き続き毎回小テスト、宿題を課し講義の内容の理解の確認と復習を行う予定。                                                    |                                                                            |                                                                            |
| 10        | 自由意見<br>教科書のどこをやっているかスライド一枚ずつページ数を書いてほしい        | 教科書との対応が必ずしも十分ではなかった                                                                                          | 教科書の対応について、記載する予定                                                                       | 教科書を使用して予習復習する学生への配慮がある程度必要という認識                                           |                                                                            |
| 11        | 自由意見<br>テストの対策も含めてより多くの練習問題が欲しい                 | 練習問題が少ない                                                                                                      | 教科書の練習問題を含めて、自習に役立つ問題数を増やす。                                                             | 効率的に概念の習得ができる練習問題を十分な量、準備する。                                               |                                                                            |

| N0 | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                           | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                        | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                      | 備 考 |
|----|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----|
| 12 | 自由意見<br>量子化学の導入をもう少し丁寧にやってほしい。                                    | 新しい概念で、教科書に従っているだけでは分かりにくかった。                                            | 教科書に書かれていないことにも触れつつ説明する。             | 学生にとって新しい概念が出てくるときには、十分に配慮する。                                 |     |
| 13 | 自由意見<br>覚えるべきところなのか、流れを理解していればいいのか分からない箇所があった。                    | 覚える必要があるのかどうか分からない。                                                      | 覚える必要がないときには、覚える必要はありませんと伝える。        | 覚える必要の有無を伝えつつ説明する。                                            |     |
| 14 | 自由意見<br>小テストがあったので、学習達成度を把握できた。                                   | 毎回、小テストを行ない、その解答を次の講義で行なった。                                              | 今後も小テストを行う予定。                        | 小テストの解答は、解答を示すだけでなく、解説もする必要がある。                               |     |
| 15 | 自由意見<br>授業動画をmoodleで、後から見ることができてよかった。                             | 講義動画を録画し、moodleにアップした。                                                   | オンライン授業なので、講義動画をmoodleにあげた。          | 対面講義でも出来る限り、動画をあげるようにする。                                      |     |
| 16 | 自由意見<br>休講や小テストに関して、moodleを使って詳細に連絡してほしい。                         | 連絡が足りなかった可能性があるが、講義動画をあげて、そこでは十分説明している。                                  | 特になし。                                |                                                               |     |
| 17 | 自由意見<br>小テストや期末テストの点数を開示してほしい。                                    | 点数の開示は、希望があればすると連絡しているので、これ以上は対応しない。                                     | 特になし。                                |                                                               |     |
| 18 | 自由意見<br>先生自身の経験談や研究室見学などを交えることで、単純な教科書的な化学だけでなく、大学で学んでいく化学を実感できた。 | 自分の研究や留学経験の話をうまく織り交ぜながら授業したこと。研究室見学を実施したこと。                              | 今後も継続して①のことを実施する。                    | 留学経験などは多くの興味をひくので効果的だった。将来の道に悩んでいる一年生に、研究室見学などを行うのも効果的だった。    |     |
| 19 | 自由意見<br>質問対策が早くて確だった。授業がわかりやすく無駄がなかった。後期の授業で一番充実していた。             | 質問がきたときはすぐに対応し、学生のことを大事にしていることをアピールしたことがよかった。一年生向けなので、わかりやすさを重視したのがよかった。 | 今後も継続して①のことを実施する。                    | 学生から問い合わせや質問があったら、すぐに対応すると、信頼感を与えられる。                         |     |
| 20 | 自由意見<br>過去問の流出を防ぐ姿勢がよかった。メールへの対応が早い。                              | Moodleの使い方に習熟していなかった。                                                    | Moodleの使い方に習熟する。                     | 過去問が流出しないようにすることは、学生の評価の妥当性を担保する上で重要である。                      |     |
| 21 | 自由意見<br>授業がわかりやすく、スライドを見ただけで理解できる。                                |                                                                          | 今後も継続して①のことを実施する。                    | スライドがきれいだと、学生に教員のやる気が伝わり、学生も前向きになる。                           |     |
| 22 | 自由意見<br>対面でよかった。                                                  | 感染対策のもと、オンラインではなく対面中心で実施したのがよかった。                                        | 今後も継続して①のことを実施する。                    | 教育は対面が大事だと思う。                                                 |     |
| 23 | 自由意見<br>研究紹介や留学についての話が興味深かった。                                     | 自分の研究や留学経験の話をうまく織り交ぜながら授業したこと。                                           | 今後も継続して①のことを実施する。                    | 留学経験などは多くの興味をひくので効果的だった。将来の道に悩んでいる一年生に、いろいろな情報や経験をシェアすることが重要。 |     |
| 24 | 自由意見<br>わからないときに個別に相談に乗ってくれたのがよかった。                               | 相談に来たときは、手を止めて全力で対応した。                                                   | 今後も継続して①のことを実施する。                    | 相談や質問がきたときは信頼を獲得するチャンスなので、全力で対応する。                            |     |
| 25 | 自由意見<br>改善点：オンデマンド授業がダウンロード可能な状態であったこと。                           | Moodleの使い方に慣れていなかった。                                                     | Moodleの使い方に習熟する。                     | Moodleの使い方に慣れないと何かとトラブルが起きる可能性がある。                            |     |
| 26 | 自由意見<br>改善点：もう少し演習問題を増やしてほしい。                                     | 演習問題をもっと実施し、能動的に考える機会を提供すべきだった。                                          | 授業中に演習問題をもっと提供する。                    | 学生に能動的に考え解答させる機会を増やすと、理解度が増す。                                 |     |



| NO         | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                                       | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                               | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                           | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                | 備 考 |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----|
| 科目名：生物学Ⅰ・Ⅱ |                                                                                               |                                                                                                 |                                                                                                |                                                         |     |
| 1          | 自由意見<br>小テストの解答時間が短いとの意見が多かった。                                                                | 小テストの時間が短いとの意見があった。オンラインテストでは学生は教科書等の参照が可能なので、意図的に多めの出題をして教科書等を参照する時間がないようにしている。それに対する反応と考えられる。 | オンラインテストの特性を考えると対応が難しいが、問題量の妥当性についての再検討はしてみたい。                                                 |                                                         |     |
| 2          | 自由意見<br>友達にオンラインテストを受けてもらったとの話を聞いたとのコメントがあった。                                                 |                                                                                                 | 不正があれば当該学期の成績は全て無効になる旨は伝えてある。オンラインテストで不正を完全に防ぐことは難しいことを考慮し、このコメントを見ても期末試験を対面で実施したのは妥当であったと考える。 |                                                         |     |
| 3          | 自由意見<br>質問フォーラムを公開しているのはよかった                                                                  | 質問フォーラムへの質問の記入を成績加点の対象とした。それについて学生に反発もあったが、結果的には肯定的な評価を受けたと考える。                                 | 積極的な質問を引き出すための対策を今後も続けていきたい。                                                                   |                                                         |     |
| 4          | 自由意見<br>内容が高校で生物学を履修していない人には難解だった                                                             | 内容が高校で生物学を履修していない人には難解だった点                                                                      | 生物学1を、高校で生物を履修した人とそうでない人とで、コース分けすべきだという意見をあげた。しかし、高等教育推進機構からは芳しい回答は得られていない。                    |                                                         |     |
| 5          | 自由意見<br>小テストの問題と講義資料の対応が良くなかった                                                                | 小テストそのものは好評ではあったが、小テストの問題と講義資料の対応が良くなかった点を指摘された。                                                | 令和4年度から対応がつくようにしている。                                                                           |                                                         |     |
| 6          | 自由意見<br>高校で生物を履修していない人にとってはかなり難しかった（改善点）。                                                     | 未履修者に対して、自主学習をフォローする必要がある。                                                                      | より基礎的な内容の授業資料を作成すると共に、学生が自分から利用する意欲を引き出す工夫をする必要がある。                                            |                                                         |     |
| 7          | 自由意見<br>・オンデマンド授業を行ったこと（良い点）。<br>・授業を対面で行ってほしい（改善点）。                                          | 今回はオンデマンド授業を行い、対面は試験のみであった。                                                                     | 令和3年度はオンデマンド授業のみだったが、対面授業を行うとともに、予習・復習にも利用できるオンデマンド授業も併用することを考える。                              |                                                         |     |
| 8          | 自由意見<br>・パワーポイントが動画より復習しやすい（良い点）。<br>・音声部分を書き起こしたPDFが助けになった（良い点）。<br>・パワーポイントより動画にしてほしい（改善点）。 | 今回は、音声付きパワーポイントと説明内容を書き起こしたPDFファイルを準備した。                                                        | 個人より、好みが分かれることを感じる。履修者数が多いことを考えると、パワーポイントファイル、動画の両方を準備した方がいいかもしれない。                            |                                                         |     |
| 9          | 設問6<br>教員の熱意が伝わってきた                                                                           | 生物学非履修者にも理解できるように、ゆっくり、分かりやすく説明した。                                                              | 今後も非履修者の気持ちに寄り添った解説や、質問への対応は継続したい。                                                             | 講義の基本はコミュニケーションなので、学生の気持ちに寄り添うことが大切だと思う。                |     |
| 10         | 自由意見<br>北大構内の巨樹巡りが楽しかったです。                                                                    | 座学だけでなく、教室から出てフィールドワークを加えた点                                                                     | リモート講義で蓄積したストレスの緩和に役立った。                                                                       | 講義にもアクティブラーニング的要素を加えることができる。                            |     |
| 11         | 自由意見<br>分子の構造や働きなどの動画が講義内容を理解するのに役立った。                                                        | 目に見えない生物分子の構造や動的変化を理解する上で動画の活用は効果的。                                                             | 今後も動画の活用は継続していきたい。                                                                             | 講義内容の理解の向上に役立つ動画の選択や、テキストへの挿入には手間がかかるが、やる価値は充分にあると思う。   |     |
| 12         | 自由意見<br>メールでの質問に対し丁寧な返答が返ってきたのがよかった。                                                          | 多数ではなかったのですが個別対応できた。                                                                            | 次年度も継続する。                                                                                      | 意欲的な学生に対応することは重要であると感じる。                                |     |
| 13         | 自由意見<br>スライドが見やすかった                                                                           | スライドの文字の大きさやレイアウトに留意したことが良かったと思われる。                                                             | 次年度も継続する。                                                                                      | 講義室のスクリーン・モニタの状況に合わせてスライドの文字サイズやレイアウトを調節することは有益であると感じる。 |     |

| NO | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                     | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                               | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                          | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                                                                                                                                                                | 備 考 |
|----|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 14 | 自由意見<br>【良かったと思う点】オンデマンドで復習しやすい。            | 復習のしやすさの点では、オンデマンドは対面よりはるかに優れている。また、講義資料の提示方法を工夫することで、予習の点でもオンデマンドは対面より優れている。これらの点が評価されてたと思われる。 | 令和3年度はオンデマンドで講義を実施したので、今後、当科目においては、オンデマンド講義を提供する可能性も検討することを予定。                | オンデマンド講義は、予習/復習の便や、拘束時間の制約が小さいといった面から、学生はメリットを感じており、学生は必ずしも対面講義を欲しているわけではない。講義自体は本来学生同士の交流の場ではないはずであり、with コロナ、postコロナの講義の実施形式に関しては、まず対面ありき（という文科省の指導にたいする盲従）ではなく、どのような講義形式が学生にとってもっともよいかを考え、各講義科目ごとに慎重かつ柔軟に判断・決定すべきであると考え。                             |     |
| 15 | 自由意見<br>【良かったと思う点】それぞれの分野の専門の先生の講義を受けられたこと。 | オンデマンド講義において、教科書の各章に対して、専門の教員が資料作製、講義、課題作成・評価を担当したため、ハイレベルの講義を提供できた。                            | 令和3年度はこのような「オムニバス形式」のオンデマンドで講義を実施したので、今後、当科目においては、オンデマンド講義を提供する可能性も検討することを予定。 | 全学教育科目のオンデマンド講義については、その内容にもよるが、各教員がそれぞれの専門性を生かしてオムニバス形式の分担担当することが可能である。たとえば、教科書の各章に対して、専門の教員が資料作製、講義、課題作成・評価を担当するといったやり方である。このような講義設計では一人あるいは少数の教員が担当する対面形式の講義の場合にくらべ、すべての内容についてハイレベルかつ熱意に満ちた親切的な教育を提供できる可能性が高いため有益であると考えられる。そのことを考慮して講義設計を検討することが望ましい。 |     |

科目名：地球惑星科学Ⅰ・Ⅱ

|   |                                               |                                                                                                                                             |                                                                          |                                                                |  |
|---|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--|
| 1 | 自由意見<br>良かったと思う点「高校で地学を履修していなくても十分に内容を理解できた。」 | 全体的に、高校時に地学が未履修だった学生に、基本的な知識を習得させ、地球科学への興味を喚起するという目的は、達成されていると考えてよさそうである。                                                                   | 今後も初学者向けのわかりやすい説明を心掛ける。                                                  | 教科書の内容にとどまらず、随所に最新の専門知識や、ニュースとの関連を交えて話すことで、より学生の興味をひくことができている。 |  |
| 2 | 自由意見<br>良かったと思う点「定期的な小テストを実施してくれた点」           | 理解の定着のためにやっている小テストは効果的であり、学生にも好評のようである。                                                                                                     | 小テストの教育効果をより高めるため、学生による小テストの解答から、学生の理解が不足している部分を把握し、理解しやすいような説明をする工夫を行う。 | 小テストを行うことで、学生が能動的に授業に参加している意識をもつことができるようになる。                   |  |
| 3 | 自由意見<br>良かったと思う点「オンラインでも対面でも受講できた点」           | 令和3年度はオンラインと対面での授業が混在していたため、オンデマンドでも授業動画を視聴できるようにしたが、結果的に学生の選択肢が増えて良かったと思われる。                                                               | 今後もわかりやすいスライド、講義資料を作成し、オンデマンド授業用動画の改善につとめる。                              | 授業で使用したスライド、講義資料、オンデマンド授業用動画を見やすく、聞き取りやすくするよう工夫すること。           |  |
| 4 | 自由意見<br>オンラインと対面のハイブリッドについて。                  | コロナ感染の状況がわからない中、ハイブリッドでの受講形式を自由選択してもらったが、意外と評価してくれたようで良かった。一方で、講義する側として、また、AV機器の性能もあって、どうしてもオンラインで受講している学生よりも、対面の学生に対する講義がなってしまうことは反省材料である。 | ハイブリッドについては、今後の感染状況にもよるが、実施する際には今回の経験を役立てたい。                             |                                                                |  |
| 5 | 自由意見<br>質問しやすい環境、時間を設定したことへの評価。               | 後が昼休みだったので、講義終了後、十分に質問時間が設定できた。                                                                                                             | 質問時間の確保もだが、質問しやすい雰囲気をつくることの重要性を感じた。                                      |                                                                |  |

| NO | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                     | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点                                                 | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                                                                | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                  | 備 考 |
|----|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----|
| 6  | 設問 6<br>教員の熱意が伝わってきた                        | 高校で地学は未修として講義を進めた。また、細かい知識・用語の解説は最小限に留め、現象の裏にある要因がどのようにして解明されていったか、残った未解明の点を強調した。 | 例えば「部分熔融」といった概念は、高校までの1成分系との違いを強調し、日常生活での例も取り上げ、さらに一番簡単な例で厳密な説明も最後に加え、曖昧さもできるだけ避け、将来の学習の一助になるようにした。 | 「旅行ガイド」のように、観光地に行くだけでも学びことがたくさんある、視点を変えて楽しむこと、の時間を入れると、気分転換も含めて、興味を学生は持つ。 |     |
| 7  | 設問 4<br>授業はシラバスにそって行われた                     | 必須の教科書に厳密に沿って進め、足りない部分だけ補いながら、全体のバランスを取った。                                        | 一つの教科書に沿って進めると、学生も全体の流れがわかり理解しやすく、また引用ページもできるだけ細かく指定した。                                             | 内容が多岐にわたるので、教員の専門分野だけやたらと細かく説明したがるのが理解できるが、やはり初習の学生なので、薄く広くこの科目はやるべき。     |     |
| 8  | 設問 7<br>教員の話し方は聞き取りやすかった。                   | たくさんの内容を説明しようとして、早口になりがちである。                                                      | スライドに要点をできるだけ示して、音声で聞き逃しても理解できるようにとした。                                                              | 一方通行にならず、学生の反応を随時見ながら話すと、理解度が高まっていたようだった。                                 |     |
| 9  | 自由意見<br>大講堂での講義は良かった。対面であること。               | 6月から許可が出たので積極的に対面授業としたが、多くの学生、とりわけ講義に興味を持つ学生にはzoomよりも学習意欲を高めたと感じた。                | 換気などにも注意して、可能な限り対面で講義を行うとともに、Moodleなどを以前よりも活用し、学習効果の向上を上げる。                                         | 講義中の小テストでは記号選択問題ならばMoodleは効果的だが、図示や記述による自分の考えを表現する目的では、現状では難しい。           |     |
| 10 | 自由意見<br>・説明が分かりやすかった<br>・知識のつながりを実感できた      | 高校地学を履修していないことを前提に、分かりやすく丁寧に教えることを心がけたことが評価されたようである。                              | 教科書に書かれてある内容だけでなく、一歩掘り下げて、原理や理屈、実例などを交えて説明するように心がけている。                                              | 各回の授業で、履修者が流れやストーリー性を感じられるように工夫すると良いようである。                                |     |
| 11 | 自由意見<br>・オンライン形式（オンデマンド）は良かった<br>・対面授業は良かった | オンライン授業ではオンラインの良さを活かしつつも、可能な限り対面授業を行おうとした姿勢が評価されたようである。                           | 対面授業に戻っても、オンライン授業で培ったノウハウ（ELMSの効果的な利用など）を十分に活用している。                                                 | 用事で対面授業ができない場合、オンデマンド形式の授業を行うことによって、休講にせず済む（履修者も時々のオンライン講義は喜ぶようである）。      |     |
| 12 | 自由意見<br>ELMSでの講義資料の閲覧期間を長くして欲しい             | 履修者にメリハリをつけてもらうため、講義資料の公開期間を限定したが、今後は改善したい。                                       | 今年度からは、定期試験終了まで講義資料をELMSで公開するようにしている。                                                               | 対面授業に戻っても、ELMSをうまく活用することで、履修者の理解はより深まるようである。                              |     |
| 13 | 自由意見<br>授業後の小テストを復習のために常に公開してもらえるとよかった      | 授業後の小テストの解答の説明は講義内でのみ行った                                                          | 来年度は講義内で説明した小テストの解答をMoodle上にも乗せる                                                                    | 小テストの解答を講義後も確認できるように工夫すること                                                |     |
| 14 | 自由意見<br>テストの過去問を公開して下さった点が良かった。             | Moodle上に過去2年分の期末テスト問題を公開した                                                        | 来年度も引き続き公開する                                                                                        | 期末テストの問題を公開すると、学生の学習に役立つと感じる                                              |     |

【日本語に関する科目】

| NO         | 質問項目への回答結果または学生の自由意見の概略                                                              | ①授業でよかった点や評価された点、また改善した方がよいと思われる点 | ②①を受けて自分自身で取り込もうと計画していることや、すでに実施したこと                              | ③他の教員の授業改善の参考になると見込まれる事項                                                                                                     | 備 考 |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 科目名：日本語Ⅰ・Ⅱ |                                                                                      |                                   |                                                                   |                                                                                                                              |     |
| 1          | 設問5 教員の説明はわかりやすかった。<br>設問7 教員の話し方は聞き取りやすかった。<br>設問10 黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。 | 説明や話し方、授業資料について評価が高かった。           | 添削作業をグループやクラス全体で行う。                                               | レポートの添削では個々の学生だけに添削結果を知らせるのではなく、学生の理解をとったうえで添削内容を共有し、その是非について議論する機会を設けると、添削による教育効果が高い。                                       |     |
| 科目名：日本語演習  |                                                                                      |                                   |                                                                   |                                                                                                                              |     |
| 1          | 自由意見                                                                                 | 資料の解釈が楽しいという意見があった。               | 講生の専門分野は問わない科目のため、ディスカッションの素材や解説の難易度に十分配慮し、グループ活動にスムーズにつながるようにする。 | 知識や情報を教師が説明する時間と、学生がグループで作業する時間の割当を事前にすべて決めてしまうと、学生の学習状況に対応しきれないため、説明やグループ活動を細かな部分に分割し、状況に応じてその場で組み合わせを変えていくと、授業への集中が保たれやすい。 |     |